

1 循環型社会の推進

(1) 環境基本計画の推進

ア 環境審議会

環境基本法の規定に基づき環境審議会を設置し、市の区域における良好な環境の保全と創造に関して、基本的事項の調査審議を行っている。

イ 環境基本計画の概要

(ア) 越前市環境基本条例

環境に大きな負荷を与える生活や社会活動を見直し、恵まれた自然・歴史・文化の地域特性を生かしたまちづくりを推進するため、平成 17 年 10 月 1 日に越前市環境基本条例を制定した。

(イ) 越前市環境基本計画

環境の保全と創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、平成 19 年 10 月に越前市環境基本計画を策定し、平成 29 年 3 月に改定を行った。この計画では、地球環境、生活環境、自然環境、資源リサイクル、環境教育・環境行動の 5 つの課題に分類し、目指すべき環境像を実現するための取組みの方向性を示している。

(2) 環境教育

ア 園児対象環境学習会

次世代を担う子どもたちの環境意識を高めるため、幼稚園・保育園において環境学習会を開催。

平成 29 年度実績 33 園で延べ 37 回開催 1,415 人が参加

イ 環境出前講座

循環型社会の推進や地球温暖化対策などを目的に、市政出前講座やイベントでの環境学習会を実施。

平成 29 年度実績 19 回開催 446 人が受講

ウ 越前市エコビレッジ交流センター

(ア) 目的 豊かな自然環境を背景に、良好な環境の保全及び創造に資する担い手の育成と環境にやさしい地域づくりを進める拠点として、また、環境の情報発信の場として活用する。

(イ) 場 所 越前市湯谷町第 25 号 25 番地の 2

(ウ) 開 所 平成 13 年 4 月

(エ) 総事業費 220,000 千円

(オ) 施設内容 [構造] 木造 2 階建
[面積] 約 600 m²
[施設] 多目的ホール、里山ギャラリー、談話室、和室、料理研究室、料理工房、図書室、大ホール、展望塔など
[地球環境にやさしい建設資材の採用]

建物そのものをエコと捉え、環境調和型木質系素材を使用するほか、書架、ステージ、テーブル、いすなどに地場産材を積極的に採用。

(カ) 施設管理・運営 指定管理者 坂口地区うららの町づくり振興会

(キ) 環境学習 環境に興味を持ってもらうための環境入門教室や周辺地域の環境資源を活かした里山スクール等を開催。(平成 29 年度実績 22 回開催 585 人参加)

また、施設見学者を対象にした環境講座を随時実施し、環境学習活動の拠点としての役割を担っている。

(3) 循環型都市システム構築

ア 有価物資源回収の奨励

集団回収

(単位：kg)

年度	新聞	雑誌	ダンボール	古衣類	回収量合計
平成 27 年度	771,790	1,236,300	512,655	20,057	2,540,802
平成 28 年度	704,725	1,136,680	473,245	21,115	2,335,765
平成 29 年度	631,595	989,090	421,135	21,105	2,062,927

イ 生ごみ自家処理器の普及

(ア) 制度の概要 一般家庭における電気を動力としない生ごみ処理器の設置に対し奨励金を交付する。奨励金の額は購入額の2分の1以内、処理器1基に対して上限3,000円とし、1家庭2基を限度とする。

(イ) 奨励金交付数

(単位：基)

年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
交付数	6	2	5

ウ ごみ減量化・リサイクル推進員制度

町内におけるステーション問題、ごみ減量化に取り組むため、養成講座を開催し、受講者を推進員として認定

平成 29 年度新規認定者数 105 人 認定者累計 1,981 人

エ 使用済み小型家電リサイクル事業

資源の有効活用と環境汚染防止を目的に、家庭で使用された小型家電を回収

平成 29 年度実績 回収量 1,940 kg

オ 金属類・電気製品の拠点回収事業

資源の有効活用と安定した回収体制の構築を目的に、家庭で使用された金属類や電気製品を回収（年 10 回）

平成 29 年度実績 回収量 116,506kg

2 環境保全

(1) 年度別公害苦情受付（処理）件数の推移

種別 年度	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	その他	計
平成 27 年度	24	19	5	0	9	23	80
平成 28 年度	18	20	3	0	6	16	63
平成 29 年度	17	16	6	0	6	24	69

(2) 不法投棄防止対策

越前市は、廃棄物の不適正処理、不法投棄等の防止と廃棄物処理関係事業者の資質の向上を図るため関係機関と連携し、これらの事犯に対し迅速かつ的確な対応を行い、地域住民の信頼の得られる廃棄物の適正処理と生活環境の保全に努めている。

【主な活動】

- ・ 廃棄物の不適正処理、不法投棄事犯等の情報交換
- ・ 産業廃棄物不法投棄事犯の防止の広報・啓発
- ・ パトロールの実施および指導
- ・ 監視カメラの設置

3 公害対策

(1) 環境監視測定

大気汚染測定結果

観測点における二酸化硫黄、浮遊粉じん及び硫化水素の年平均値の比較

二酸化硫黄

(単位：ppm)

観測局名 \ 年平均値	平成27年度	平成28年度	平成29年度
味真野大気観測局	0.000	0.000	0.000
武生北観測局	0.001	0.001	0.001
武生西観測局	0.000	0.000	0.000

浮遊粒子状物質

(単位：mg/m³)

観測局名 \ 年平均値	平成27年度	平成28年度	平成29年度
武生観測局	0.015	0.014	0.013
味真野大気観測局	0.012	0.011	0.011
武生北観測局	0.014	0.015	0.015
武生西観測局	0.012	0.010	0.010
今立観測局	0.015	0.014	0.012

硫化水素

(単位：ppm)

観測局名 \ 年平均値	平成27年度	平成28年度	平成29年度
味真野大気観測局	0.004	0.003	0.004

(2) 公共用水域水質調査結果（生活環境項目）

河川名	項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度
日野川 (豊橋)	P H	7.4	7.2	7.3
	BOD (mg/ℓ)	0.6	0.7	0.6
	S S (mg/ℓ)	2	3	2
	D O (mg/ℓ)	10	11	11
	大腸菌群数 (MPN/100mℓ)	2.6×10^2	3.3×10^3	1.0×10^3
吉野瀬川 (芝原井橋)	P H	7.4	7.2	7.2
	BOD (mg/ℓ)	0.7	0.7	0.7
	S S (mg/ℓ)	3	5	3
	D O (mg/ℓ)	10	10	11
	大腸菌群数 (MPN/100mℓ)	7.0×10^3	1.2×10^3	1.0×10^3
吉野瀬川 (藪ヶ市橋)	P H	7.1	7.0	7.0
	BOD (mg/ℓ)	0.9	1.0	0.8
	S S (mg/ℓ)	4	3	4
	D O (mg/ℓ)	11	11	10
	大腸菌群数 (MPN/100mℓ)	2.5×10^4	6.6×10^3	1.1×10^4
天王川 (曾原橋)	P H	7.2	7.1	7.1
	BOD (mg/ℓ)	0.7	0.9	1.0
	S S (mg/ℓ)	3	5	3
	D O (mg/ℓ)	10	10	11
	大腸菌群数 (MPN/100mℓ)	7.0×10^3	3.8×10^3	3.0×10^3
浅水川 (北町橋)	P H	7.1	7.1	7.1
	BOD (mg/ℓ)	0.9	0.8	1.4
	S S (mg/ℓ)	2	3	4
	D O (mg/ℓ)	10	10	10
	大腸菌群数 (MPN/100mℓ)	4.7×10^4	4.7×10^3	5.5×10^3
穴田川 (穴田橋)	P H	7.6	7.5	7.4
	BOD (mg/ℓ)	1.3	1.1	1.2
	S S (mg/ℓ)	7	4	5
	D O (mg/ℓ)	10	11	11
	大腸菌群数 (MPN/100mℓ)	1.2×10^5	1.8×10^4	6.1×10^3
大塩谷川 (富士見が丘)	P H	7.2	7.1	7.1
	BOD (mg/ℓ)	0.6	0.6	0.8
	S S (mg/ℓ)	4	3	4
	D O (mg/ℓ)	11	11	11
	大腸菌群数 (MPN/100mℓ)	1.6×10^3	7.3×10^3	1.6×10^3
御清水川 (日野川合流前)	P H	8.3	8.2	8.1
	BOD (mg/ℓ)	5.4	3.8	9.1
	S S (mg/ℓ)	1	2	2
	D O (mg/ℓ)	10	9	10
	大腸菌群数 (MPN/100mℓ)	5.1×10^3	4.0×10^3	7.6×10^2
河濯川 (信越体育館付近)	P H	8.5	8.3	8.3
	BOD (mg/ℓ)	0.7	0.9	0.6
	S S (mg/ℓ)	1	2	3
	D O (mg/ℓ)	12	12	12
	大腸菌群数 (MPN/100mℓ)	2.0×10^3	3.3×10^3	8.5×10^2
鞍谷川 (小富士橋)	P H	7.7	7.7	7.6
	BOD (mg/ℓ)	3.2	4.8	4.5
	S S (mg/ℓ)	5	5	12
	D O (mg/ℓ)	10	11	10
	大腸菌群数 (MPN/100mℓ)	2.5×10^3	1.1×10^4	4.3×10^4
鞍谷川 (新堂橋)	P H	7.8	7.8	7.8
	BOD (mg/ℓ)	1.2	1.9	1.9
	S S (mg/ℓ)	4	4	4
	D O (mg/ℓ)	10	11	11
	大腸菌群数 (MPN/100mℓ)	2.9×10^3	1.7×10^4	1.8×10^3

(3) 地下水質調査結果

汚 染 物 質	調査実施地区	汚染発見年	モニタリング 井戸数	定期モニタリングによる濃度変化	
				過去の 最高濃度 A(mg/ℓ)	最高濃度井戸での 最近2年間の平均 濃度 B(mg/ℓ)
トリクロロエチレン	吉 野	元年	7	0.11	0.032
テトラクロロエチレン	北 府	元年	2	0.030	0.010
トリクロロエチレン	大 虫	2年	4	0.12	<0.001
トリクロロエチレン	王 子 保	2年	5	0.11	0.002
シス-1,2-ジクロロエチレン	王 子 保	6年	5	0.097	0.035
トリクロロエチレン	米口町	10年	2	0.17	0.021
砒 素	長尾町・戸 谷町・塚町・ 三ツ屋町	12年	3	0.031	0.019
砒 素	家久町	19年	7	0.018	<0.005
総 水 銀	家久町	19年	7	0.033	0.012
ベ ン ゼ ン	家久町	19年	7	0.11	0.060
ク ロ ロ エ チ レ ン	家久町	21年	7	0.032	0.005

環境基準 : トリクロロエチレン(0.01mg/ℓ)
 : テトラクロロエチレン(0.01mg/ℓ)
 : 総水銀(0.0005mg/ℓ)
 : クロロエチレン(0.002mg/ℓ)

砒素(0.01mg/ℓ)
 シス-1,2-ジクロロエチレン(0.04mg/ℓ)
 ベンゼン(0.01mg/ℓ)

(4) ダイオキシン類調査結果

区 分	調 査 地 点	調 査 結 果	調 査 日	環 境 基 準
水 質	吉野瀬川 (芝原井橋)	0.071TEQ/ℓ	平成 29 年 8 月 17 日	1 pg-TEQ/ℓ 以下
土 壤 1	武生西小学校	0.0018pg-TEQ/g(dry)	平成 29 年 8 月 17 日	1000pg-TEQ/g(dry) 以下
土 壤 2	家久町南部公園	0.017g-TEQ/g(dry)	平成 29 年 8 月 17 日	1000pg-TEQ/g(dry) 以下

(5) 環境保全(公害防止)協定締結状況

番号	事 業 所 名	所在地	締結年月日
1	パナソニック株式会社モータ社武生工場	今 宿 町	S48. 2. 7 (改定)H 8. 9. 18
3	倉茂電工株式会社	高 木 町	S49. 4. 6 (改定)H24. 3. 1
4	アイ・エム・エヌ株式会社	今 宿 町	S49. 6. 20 (改定)H23. 4. 12
5	レンゴー株式会社福井事業部武生工場	上 真 柄 町	S49. 6. 25 (改定)H24. 3. 28
6	柳井化学工業株式会社武生工場	上 真 柄 町	S49. 6. 25 (改定)H24. 3. 14
9	レンゴー株式会社福井工場	瓜 生 町	S49. 11. 28 (改定)H 7. 4. 7 (改定)H24. 4. 10
10	南越アスコン株式会社	妙 法 寺 町	S49. 12. 10 (改定)H23. 2. 1
11	武生特殊鋼材株式会社	四 郎 丸 町	S50. 3. 26 (改定)H24. 3. 28
12	武生青果株式会社	矢 船 町	S50. 9. 16 (改定)H24. 3. 1
13	株式会社武生総合食品市場	矢 船 町	S50. 9. 16 (改定)H24. 3. 28
15	越前打刃物協同組合	池 ノ 上 町	S50. 11. 14
16	大和食品株式会社	矢 放 町	S50. 11. 15
17	越前たけふ農業協同組合 (東部カントリー・エレベーター)	西 尾 町	S51. 5. 4
18	川研ファインケミカル株式会社	北府一丁目	S52. 1. 21 (改定)H23. 7. 13

番号	事業所名	所在地	締結年月日
19	津田鋼業株式会社	栗田部町	S52. 11. 21 (改定)H24. 3. 14
20	信越化学工業株式会社武生工場	北府二丁目	S54. 6. 6
21	日信化学工業株式会社	北府二丁目	S54. 6. 6
22	テクノス株式会社武生工場	今宿町	S54. 9. 27 (改定)H25. 11. 1
23	越前たけふ農業協同組合 (西部カントリー・エレベーター)	大虫町	S54. 10. 15
24	株式会社福井村田製作所	岡本町	S54. 11. 20 (改定)H2. 10. 12 (改定)H9. 6. 9
25	有限会社岩六製紙所	岩本町	S55. 12. 5
26	株式会社上山製紙所	岩本町	S55. 12. 5
27	株式会社五十嵐製紙所	岩本町	S55. 12. 5
28	梅田和紙株式会社	不老町	S55. 12. 5
29	有限会社五箇製紙	不老町	S55. 12. 5
30	山田兄弟製紙株式会社	不老町	S55. 12. 5
31	山一製紙所	不老町	S55. 12. 5
32	水上製紙株式会社	不老町	S55. 12. 5
33	株式会社岩野平三郎製紙所	大滝町	S55. 12. 5
34	株式会社滝製紙所	大滝町	S55. 12. 5
36	石川製紙株式会社	大滝町	S55. 12. 5
37	有限会社小畑製紙所	大滝町	S55. 12. 5
38	有限会社山喜製紙所	大滝町	S55. 12. 5
39	有限会社三田村製紙所	大滝町	S55. 12. 5
40	株式会社山路製紙所	大滝町	S55. 12. 5
41	福井特殊紙株式会社	定友町	S55. 12. 5
42	株式会社新在家製紙所	新在家町	S55. 12. 5

番号	事業所名	所在地	締結年月日
43	有限会社清水製紙所	新在家町	S55. 12. 5
44	ウエサカニット	池ノ上町	S56. 4. 27
45	ゼットクリエイト株式会社	池ノ上町	S57. 10. 14 (改定) H10. 3. 30
46	アイシン・エイ・ダブリュ工業株式会社	池ノ上町	S58. 4. 21 (改定) H 2. 1. 31 (改定) H 9. 1. 23 (改定) H20. 8. 6
47	株式会社福井信越石英	萱谷町	S58. 12. 23 (改定) H25. 3. 15
48	株式会社ふじや食品	矢放町	S59. 1. 20 (改定) H24. 1. 13
49	垣内産業株式会社	今宿町	S59. 7. 16 (改定) H24. 2. 10
50	有限会社中村合金鋳造所	池ノ上町	S62. 1. 27
51	株式会社結城鉄工所	池ノ上町	S62. 3. 5
52	上嶋養鶏場	丹生郷町	S63. 5. 24
53	信越化学工業株式会社武生工場 (池ノ上分工場)	池ノ上町	S63. 9. 2 (改定) H27. 10. 21
54	松栄産業株式会社武生支店	池ノ上町	S63. 9. 6
56	株式会社北陸油化	大塩町	H 1. 3. 27
57	株式会社武生環境保全 (安養寺工場)	安養寺町	H 2. 3. 23 (改定) H25. 2. 15
58	株式会社福井村田製作所白山工場	米口町	H 2. 10. 12 (改定) H15. 12. 22
59	カワイ株式会社	池ノ上町	H 5. 9. 28
60	鈴与トラックステーション株式会社	塚原町	H 6. 11. 24
61	港南株式会社	白崎町	H 8. 7. 17
62	株式会社武生環境保全	家久町	H14. 1. 8
64	村田電機工業	栗田部町	H15. 7. 23
65	ナカヤ化学産業株式会社	栗田部町	H15. 8. 8
66	ダイヤロン株式会社	栗田部町	H16. 3. 30
67	山口エンジニア	栗田部町	H16. 5. 26 (改定) H24. 3. 1

番号	事業所名	所在地	締結年月日
68	グリーンメタルズ株式会社	栗田部町	H16.10.15 (改定)H24.3.1
69	アイシン・エイ・ダブリュ工業株式会社(白崎工場)	白崎町	H18.10.4
70	忠央容器株式会社	栗田部町	H19.1.24
71	株式会社クリーンアース産業	栗田部町	H20.3.18
72	株式会社ダイエイ	栗田部町	H21.4.21
73	株式会社ホームエネルギー北陸	栗田部町	H21.10.29
74	株式会社福井急行	栗田部町	H24.7.20
75	有限会社吉田加工	栗田部町	H25.1.25

*2、7、8、14、35、55、63 は欠番

平成30年4月1日現在 計6

4 環境マネジメントシステム（EEMS）

（1）経過

平成27年4月から、これまでの15年間にわたるISO14001規格に適合したシステムを運用した経緯を踏まえ、市独自の越前市環境マネジメントシステム「EEMS」の運用を開始し、継続的改善を行っている。

（2）EEMSの成果

EEMSの主要な実施内容の一つとして、各所属及びその所管施設に適用される環境法令の順守状況を調査し、不適合がある場合は是正の措置を確認するようにしている。平成29年度は、不適合の発生はなかった。また、市の施設のエネルギー使用量について全職員に見える化を図っている。各所属においては、絶対値又は原単位方式により、各々の実情にあった評価を行っている。市全体の省エネ法に基づくエネルギー使用量の報告は、原単位方式で行っているが、EEMSでは、省エネ設備への入れ替え等が完了するまでは、絶対値により評価を行っており、基準年度から年1%ずつの削減を目標としている。

5 地球温暖化対策

平成22年度に「我が家のCO2CO2ダイエット計画」（越前市地球温暖化対策実行計画（家庭部門））を策定し、増加傾向にある家庭部門の温室効果ガス削減に向けて、省エネ・新エネ設備の導入や低公害車の導入など、家庭で取り組んでいくべき内容について定め、その普及啓発に努めている。

（1）CO2CO2（コツコツ）きつず大作戦の実施

小学5年生を対象に、楽しみながら地球に優しいライフスタイルを身につけることを目的に、夏休み期間を利用してエコアクションビンゴを実施した。

平成29年度参加人数 592名

（2）太陽光発電設備導入補助制度

省資源化の推進及び地球温暖化防止を図るため、平成21年度から住宅用太陽光発電設備の導入補助制度を設け、設備導入を推進している。また、太陽光発電設備と同時に省エネ設備（エコキュート、LED照明等）を導入する場合は補助金を上乘せし、より一層の普及を図っている。

平成29年度補助件数 33件 太陽光発電のみ設置 25件

(3) 公共施設屋根貸しによる太陽光発電設備普及事業

市内の太陽光発電設備の普及や公共施設の有効利用等を目的に、再生可能エネルギーの全量固定価格買取制度を活用し太陽光発電事業を行う事業者に対し、市公共施設の屋根の使用を許可し、再生可能エネルギーの導入を促進する事業を実施。

対象施設 市水循環センターほか 計6施設

発電容量 計243kW

(4) 電気自動車の公用車への導入と補助制度

地球温暖化防止及び省エネルギーを目的に、電気自動車導入補助制度を設けて電気自動車の普及を推進している。

平成29年度実績

電気自動車導入促進事業補助金 13件

(5) 市管理のLED街路灯等導入事業

環境省の「小規模地方公共団体におけるLED街路灯等導入促進事業」の採択を受け、リース方式により街路灯等のLED化を実施 2,351灯

6 シルバー人材センター

高齢者の就業機会の増大と生きがいづくりを目的として設立された公益法人であり、地域における日常生活に密着した臨時的、短期的な仕事を請負または委任の形式によって会員に提供している。高齢者の生きがいの充実、社会参加の推進を図ることにより、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与している。

公益社団法人 越前市シルバー人材センター（越前市国高二丁目第26号4番地の1）

発 足 平成18年4月1日

（旧武生市 昭和56年10月・旧今立町 平成元年4月5日）

会員数 641人（平成30年3月31日現在）

(1) シルバー人材センター支援事業

ア 越前市シルバー人材センター事業

公益財団法人越前市シルバー人材センター事業に要する経費

補助額 平成29年度 5,731千円

イ 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業補助金

人手不足分野・現役世代を支える分野で高齢者に就業する機会を提供し、高齢者の生活の安定、生きがいの向上、健康の維持・増進、企業の人手不足の解消、地域社会の維持・発展等を推進する事業を実施

補助額 平成29年度 4,800千円

ウ 地域就業機会創出・拡大事業（空家・空地等管理代行サービス事業）

地域企業の雇用問題の解決、地域企業の活性化、地域社会・経済の維持・発展等につながる新たな就業機会を創出する事業を実施

補助額 平成 29 年度 2,500 千円

7 市の中小企業者等・勤労者等への融資制度

(1) 中小企業者等への融資制度

(平成30年4月1日現在)

	越前市中小企業者等資金融資制度	
	中小企業等伴走型資金 (H29.4月新設)	小規模企業者支援特別資金
目的	金融機関による経営指導等を伴った伴走型融資の実行により、企業の経営力強化に繋げ、中小・小規模企業者の持続的発展、事業継承を促進する。	市内の小規模企業者に必要な資金の融資を行うことにより、小規模企業者の事業の円滑化、商工業の振興に寄与する。
融資対象者	中小企業者 (小規模企業者含む) / 創業者	小規模企業者
使途・融資限度額	運転資金 2,000万円 運転・設備併用資金 3,000万円 (併用の場合の運転資金は、1,000万円以内)	2,000万円
返済期間	運転資金 5年以内 運転・設備併用資金 10年以内 (それぞれ据置期間6カ月を含む)	7年以内 (据置期間6カ月以内)
融資利率	2.0%	県中小企業育成資金 (小口) の利率に準じる (H30.4.1現在0.9%)

	越前市中小企業者等資金融資制度	
	中小企業等伴走型資金	小規模企業者支援特別資金
償還方法	元金均等割賦償還	
保証人・担保	融資取扱金融機関の定めによる (福井県信用保証協会の保証付き融資なし)	融資取扱金融機関の定めによる (福井県信用保証協会の小口零細企業保証が必要)
取扱金融機関 (順不同)	市内の各銀行、信用金庫	
問合せ先	越前市産業政策課、取扱金融機関	

融資の種類	利用件数		利用金額
中小企業振興資金	H27	12件	121,710千円
	H28	8件	68,900千円
	H29	—	—
小規模事業育成資金	H27	14件	74,400千円
	H28	19件	82,716千円
	H29	—	—
小規模企業者支援特別資金	H27	89件	297,000千円
	H28	74件	286,410千円
	H29	81件	297,240千円
中小企業等伴走型資金	H29	83件	930,270千円

(2) 越前市中小企業等振興資金利子補給制度 ※制度は平成 28 年度で終了

越前市中小企業振興資金の設備資金の融資を受けた事業者に対し、1 年以内で利子補給を行う。

越前市小規模事業者育成資金の設備資金の融資を受けた事業者に対し、2 年以内で利子補給を行う。

ただし、越前市中小企業振興資金及び小規模事業者育成資金の融資を受けた事業者のうち、武生商工会議所の「B-イノベーション越前認定制度」の認定企業、または福井県商工会連合会の「商工会認証システム制度」の認証企業に対しては、運転資金・設備資金、ともに3年以内で利子補給を行う。

小規模事業者経営改善資金（マル経資金）の融資を受けた事業者に対し、運転資金の場合は1年以内、設備資金の場合は2年以内で利子補給を行う。

補給金額 支払利子額× $\frac{\text{年}1.0\%}{\text{融資金の年利率}}$ または、支払利子額×1/2のいずれか多い額

利用融資名	利用件数	補給金額
中小企業振興資金・小規模事業者育成資金	H27 20件	507千円
小規模事業者経営改善資金（マル経資金）	67件	1,524千円
中小企業振興資金・小規模事業者育成資金	H28 21件	741千円
小規模事業者経営改善資金（マル経資金）	72件	1,331千円
中小企業振興資金・小規模事業者育成資金	H29 —	—
小規模事業者経営改善資金（マル経資金）	79件	1,420千円

(3) 越前市小規模企業者支援特別資金信用保証料補給制度

越前市小規模企業者支援特別資金の融資を受け、かつ、信用保証料の全額を一括納入した事業者に対し信用保証料の全額を補給する。

利用融資名	利用件数	補給金額
小規模企業者支援特別資金信用保証料補給制度 (H30.3.31信用保証料補給の廃止)	H27 83件	8,688千円
	H28 75件	9,988千円
	H29 78件	10,972千円

(4) 越前市小規模企業者支援特別資金利子補給制度

越前市小規模企業者支援特別資金の融資を受けた事業者に対し、1年以内で支払った利子額の全額の利子補給を行う。

利用融資名	利用件数	補給金額
小規模企業者支援特別資金利子補給制度	H27 166件	2,966千円
	H28 143件	3,397千円
	H29 128件	2,876千円

(5) 越前市女性等創業支援資金利子補給

日本政策金融公庫の「女性、若者／シニア起業家資金」及び「中小企業経営力強化資金」の融資を受けており、市内で創業済（予定）の女性又は創業（予定）時において55歳以上の男性に対し、2年以内で支払った利子額の全額の利子補給を行う。

平成28年度より開始

	補給件数	補給額
H28	0件	—
H29	3件	120千円

(6) 緊急経営安定対策利子補給金

営業利益減少や仕入れ価格上昇等の理由により、県の経営安定資金（セーフティネット保証支援分）の融資を利用した市内の中小企業者に対し、3年以内で支払った利子額の2分の1の額の利子補給を行う。

	補給件数	補給額
H27	97件	2,675千円
H28	41件	795千円
H29	7件	22千円

(7) 勤労者等への融資制度

(平成30年4月1日現在)

制度名	勤労者等資金融資	
種類	勤労者生活安定資金	育児・介護休業生活資金
目的	勤労者の生活の安定と福祉の向上に寄与	育児及び介護休業制度を利用する勤労者の休業期間中の生活の安定と福祉の向上に寄与
融資対象者	市内に住所を有し、企業・個人事業所に勤務している人	市内に住所を有し、介護及び育児休業制度を導入している事業所に勤務する人で当該休業中であり、休業期間終了後直ちに復職できる人
融資限度額	150万円	100万円
返済期間	5年以内	
融資利率	年1.3%（返済3年以内）固定金利 年1.6%（返済3年を超え5年以内）固定金利	年1.1%（固定金利） ※市が利子を全額助成
償還方法	元利均等月賦返済	
保証人・担保	取扱金融機関の定めによる	
窓口 (順不同)	北陸労働金庫丹南支店	

利用融資名	利用件数		利用金額
勤労者生活安定資金	H27	108件	97,940千円
	H28	96件	93,720千円
	H29	80件	69,670千円

(8) 未組織労働者融資保証料補給制度

未組織労働者が、福井県労働者信用基金協会の債務保証を受けて北陸労働金庫から貸付けを受ける場合、その保証料の1/2の額を5年間補給する。

利用融資名	利用件数		補給金額
未組織労働者融資保証料補給金	H27	38件	505千円
	H28	28件	355千円
	H29	20件	256千円

(9) 勤労者育児・介護休業生活資金利子補給制度

県勤労者ライフプラン資金の育児・介護休業生活資金融資を受けた勤労者に対して利子補給する。

利用融資名	利用件数		補給金額
勤労者育児・介護休業生活資金利子補給金	H27	2件	10千円
	H28	2件	7千円
	H29	2件	5千円

8 家内労働指導事業補助金

交付団体 越前市家内労働指導センター
越前市帆山町第5号31番地の1
設置目的 家内労働による仕事の開拓、指導、相談及び斡旋を行い、家内労働者の就業機会の増大と福祉の向上を図り、地場産業の発展に寄与する。
発 足 昭和57年4月
就業人員 1,153人（平成29年度実績）
補助目的 家内労働センターが行う事業の充実を図る。
補助額 平成29年度 900千円

9 労働団体育成事業補助金

交付団体 連合福井丹南地域協議会南越地区連絡会
越前市越前市中央二丁目5番36号
補助目的 労働者の教育、文化及び福祉の向上のための事業の充実を図る。
補助額 平成29年度 500千円

10 勤労者福祉施設

(1) 勤労青少年ホーム

設置目的 勤労青少年の健全な育成と福祉の向上
ア 武生勤労青少年ホーム（越前市高瀬二丁目9番32号）
愛 称 フレンドパークたけふ
開 館 昭和50年6月1日
施 設 鉄筋コンクリート3階建（うち2・3階） 延958.67㎡
図書館兼集会室、講習室（和室）、相談室、軽運動室、音楽室
工 事 費 73,056千円
（うち、国庫補助7,500千円 県7,500千円 起債31,700千円）
運 営 利用資格 市内在住または市内勤務の勤労青少年
登 録 者 数 264名（平成30年4月現在）
事 業 < 講座 >
陶芸、華道草月流、フラワーアレンジメント、裏千家茶道、ピラティス、
英会話、初めての手話、ポルトガル語入門、パワーヨガ
< 各種サークル活動 >
テニス、バンド、バドミントン、吟舞、ヨサコイ、各種ダンス、和裁、

各種エクササイズ、フラダンス、パッチワーク、和楽器演奏、民舞、民謡体操、色鉛筆画、書道、カラオケ、華道池坊

〈 フレンドパークたけふ利用者会企画 〉

会長不在のため、活動休止

開館時間 午後 0 : 30 ~ 午後 9 : 00

休館日 日曜日、祝日、年末年始 (12月28日 ~ 1月3日)

使用料 登録者 無料

登録者以外 有料 (部屋、使用時間に応じて 250 円 ~ 620 円、営利目的使用は 3 倍、冷暖房時 2 割増)

職員 館長 1 人、指導員 2 人

イ 今立勤労青少年ホーム (越前市西庄境町第 21 号 7 番地の 1)

開館 昭和 56 年 4 月

工事費 207,099 千円

開館時間 午前 9 : 00 ~ 午後 10 : 00

休館日 月曜日、祝日の翌日、年末年始 (12月28日 ~ 1月4日)

使用料 登録者 無料

登録者以外 有料 (部屋、使用時間に応じて 500 円 ~ 5,000 円、営利目的使用は 3 倍、冷暖房時 2 割増)

(2) 越前市式部ふれあい館 (越前市国高一丁目 13 番地 11)

設置目的 働く婦人の福祉の増進と地位の向上

開館 昭和 53 年 4 月 1 日

施設 鉄筋コンクリート 2 階建及び鉄骨造平屋建 延 690.31 m²
料理実習室、軽運動室、講習室 2、研修室 2、相談室

工事費 85,697 千円

(うち国庫補助 30,000 千円、県費 15,000 千円、起債 27,500 千円)

運営 登録者数 425 人 (平成 30 年 4 月現在)

事業 〈 主催講座 〉

創作折り紙、似顔絵、家庭料理、お菓子作り、パン作り、合唱、陶芸、エコ手芸、味噌作り、アレンジフラワー、オカリナ、その他自主グループ (42 グループ)

管理 指定管理者制度により越前市式部ふれあい館自治会に委託

開館時間 午前 9 : 00 ~ 午後 9 : 00

休日 月曜日、祝日の翌日、年末年始 (12月28日 ~ 1月3日)

使用料 登録者 無料

登録者以外 有料 (部屋、使用時間に応じて 500 円 ~ 5,000 円、営利目的使用は 3 倍、冷暖房時 2 割増)

(3) 越前市労働福祉会館 (越前市中央二丁目 5 番 1 号)

設置目的 労使の協調、福利の増進

開館 昭和 50 年 8 月

施設 鉄筋コンクリート 3 階建 延 1,318.4 m²
ホール 1、会議室 3 (内和室 2)

事務所設置機関 : (社) 福井県労働基準協会南越支部、中部地区労働福祉平和センター、建設業労働災害防止協会南越分会

工事費 160,710 千円 (うち起債 21,000 千円、労金負担金 50,000 千円)

管理 指定管理者制度により公益財団法人越前市文化振興・施設管理事業団に委託

開館時間 午前 9 : 00 ~ 午後 9 : 00

休館日 日曜日、祝日、年末年始（12月28日～1月3日）
使用料 部屋、使用時間に応じて、500～10,000円（営利目的使用は3倍、冷暖房時は2割増）

(4) 越前市国高労働福祉センター（越前市瓜生町第38号8番地）

設置目的 地域社会と企業の融和（工業再配置促進費補助事業）
開館 昭和50年5月
施設 鉄筋コンクリート2階建 延426㎡
研修室、和室、会議室、大ホール
工事費 68,080千円
管理 指定管理者制度により国高コミュニティ施設管理協会に委託
開館時間 午前9:00～午後10:00
休館日 月曜日、祝日の翌日、年末年始（12月28日～1月3日）
使用料 部屋、使用時間に応じて、500～5,000円（営利目的使用は3倍、冷暖房時は2割増）

(5) 越前市池ノ上勤労者スポーツセンター（越前市池ノ上町第31号18番地の3）

設置目的 地域社会と企業の融和（工業再配置促進費補助事業）
開館 昭和55年2月
施設 鉄骨造り平屋建 延421.4㎡
和室、スポーツルーム
工事費 60,490千円
管理 越前市池ノ上勤労者スポーツセンター管理協会に委託
開館時間 午前9:00～午後10:00
休館日 月曜日、祝日の翌日、年末年始（12月28日～1月3日）
使用料 部屋、使用時間に応じて、500～10,000円（営利目的使用は3倍、冷暖房時は2割増）

(6) 越前市行松会館（越前市行松町第20号15番地の1）

設置目的 地域社会と企業の融和（工業再配置促進費補助事業）
開館 昭和57年4月
施設 鉄筋コンクリート2階建及び鉄骨造平屋建 延622.36㎡
スポーツルーム、静養室、集会室、図書室
工事費 85,000千円
管理 指定管理者制度により越前市行松会館管理協会に委託
開館時間 午前9:00～午後10:00
休館日 月曜日、祝日の翌日、年末年始（12月28日～1月3日）
使用料 部屋、使用時間に応じて、500～10,000円（営利目的使用は3倍、冷暖房時は2割増）

(7) 越前市国高ふれあいセンター（越前市瓜生町第38号5番地）

設置目的 地域住民相互の融和
開館 平成16年4月
施設 鉄骨造平屋建 延384.03㎡
講堂、研修室、会議室
工事費 87,434千円
管理 指定管理者制度により国高コミュニティ施設管理協会に委託
開館時間 午前9:00～午後10:00
休館日 月曜日、祝日の翌日、年末年始（12月28日～1月3日）
使用料 部屋、使用時間に応じて、500～5,000円（営利目的使用は3倍、冷暖房時は2割増）

時は2割増)

(8) **越前市広瀬勤労者研修センター** (越前市広瀬町第144号1番地の1)

愛称 ワークステップひろせ
設置目的 勤労者の資質の向上及び地域社会と企業の融和
開館 平成17年4月
施設 鉄骨造平屋建 延387.81㎡、研修室3
工事費 101,068千円
管理 ワークステップひろせ管理協会に委託
開館時間 午前9:00～午後10:00
休館日 年末年始(12月29日～1月3日)
使用料 部屋、使用時間に応じて、500～5,000円(営利目的使用は3倍、冷暖房時は2割増)

11 雇用促進対策

(1) **メディア活用情報発信等委託料**

越前市の企業で働く魅力や越前市で暮らす魅力を発信し、市内企業の雇用確保に繋げ、定住化を促進するため。

平成27年度 7,497千円：株式会社日経BP
平成28年度 1,689千円：株式会社ウララコミュニケーションズ
平成29年度 1,659千円：株式会社ウララコミュニケーションズ

(2) **UIJターン就職奨励金**

市内企業へのUIJターン者の雇用促進を図るため、対象者に奨励金を支給。

平成27年度 3件(3人) 350千円
平成28年度 16件(24人) 1,950千円
平成29年度 10件(18人) 1,500千円

(3) **中小企業等新入社員定着化セミナー**

企業の人材確保と職場への定着を目的として開催。平成28年度より開始。

平成28年度 16事業所、33人 500千円
平成29年度 14事業所、37人 500千円

(4) **中小企業人材確保支援事業**

高校生を対象として中小企業の職場見学を実施。平成28年度より開始。

平成28年度 参加生徒191人、訪問企業16社 480千円
平成29年度 参加生徒267人、訪問企業14社 500千円

12 産業人材育成

(1) **産業人材育成支援事業補助金**

市内企業等の人材育成を支援し、市内産業の振興を図ることを目的に研修費用の一部を補助。平成28年度から新入社員及び女性創業者の研修を補助対象に追加。

平成27年度 補助額288千円 6事業所、受講者数 延べ31人
平成28年度 補助額721千円 11事業所、受講者数 延べ67人
平成29年度 補助額676千円 11事業所、受講者数 延べ102人

13 小規模事業経営支援

(1) 小規模事業経営支援促進事業補助金

経営改善普及事業の充実を図り、小規模事業者の振興と安定に資することを目的に商工団体の事業費の一部を補助

平成 27 年度 11,130 千円：武生商工会議所 6,000 千円、越前市商工会 5,130 千円

平成 28 年度 11,110 千円：武生商工会議所 5,750 千円、越前市商工会 5,360 千円

平成 29 年度 10,986 千円：武生商工会議所 5,979 千円、越前市商工会 5,007 千円

(2) 小規模事業者伴走型持続化補助金

地域の原動力となる小規模事業者の活性化を図ることを目的に、商工団体の指導による経営計画に基づいた販路開拓等を行うために必要な経費の一部を補助

平成 28 年度 補助対象企業 10 社、3,758 千円

平成 29 年度 補助対象企業 12 社、4,428 千円

14 農 業

本市は経営耕地面積のうち約 75%で水稻の作付けを行っており、コシヒカリを中心に良質米生産基地としての地位を確立してきた。

しかし、兼業化の進行、労働力の減少・高齢化、集落資源の共同管理機能及び連帯感の低下、鳥獣害等の課題を抱えている。

(1) 農家戸数の推移

(単位：戸・%)

区分	年	平成 17 年 実数	平成 22 年 実数	平成 27 年 実数	平成 22 年と平成 27 年 との比較	
	越前市	越前市	越前市	増減数	増減率	
総 農 家		3,740	3,078	2,549	△529	△17.2
販 売 農 家		2,843	2,198	1,773	△465	△21.5

資料：各年農林業センサス

農家の定義：経営耕地面積 10 a 以上または、農産物販売額 15 万円以上

販売農家：経営耕地面積 30 a 以上または、農産物販売額 50 万円以上

(2) 専業別農家戸数の推移 (販売農家)

(単位：戸)

年 度	区 分	専業農家	第 1 種 兼業農家	第 2 種 兼業農家	計
平成 17 年		255	148	2,440	2,843
平成 22 年		212	93	1,893	2,198
平成 27 年		274	130	1,369	1,773

資料：各年農林業センサス

(3) 経営耕地規模別農家数の推移

(単位：戸・%)

区 分	年	平成 17 年		平成 22 年		平成 27 年	
		越前市		越前市		越前市	
面積規模別		総 数	総 数	構成比	構成比	総 数	構成比
経営耕作地なし		2	0.07	1	0.05	11	0.59
0.3ha 未満		1	0.03	5	0.22	3	0.16
0.3～ 0.5ha 未満		584	20.50	415	18.90	335	18.13
0.5～ 1.0ha 未満		1,222	43.00	903	41.10	692	37.45
1.0～ 1.5ha 未満		591	20.80	476	21.70	394	21.32

1.5～2.0ha未満	254	8.90	203	9.20	169	9.15
2.0～3.0ha未満	118	4.2	99	4.5	98	5.30
3.0～5.0ha未満	36	1.30	48	2.20	46	2.49
5.0～10.0ha未満	26	0.90	34	1.50	44	2.38
10.0～20.0ha未満	6	0.20	10	0.45	32	1.73
20.0～30.0ha未満	3	0.10	4	0.18	13	0.70
30.0～50.0ha未満	3	0.10	4	0.18	7	0.38
50.0～100.0ha未満					4	0.22
計	2,843	100	2,198	100	1,848	100

資料：各年農林業センサス

※平成17年数値については、旧武生市・旧今立町の数値を合計したものである。

※平成17年、22年は販売農家、27年は農業経営体のもの

農業経営体：販売農家等の個人経営体のほか、法人・非法人の組織経営体を含む。

(4) 経営耕地面積の推移

平成27年2月1日現在の経営耕地総面積は339,600aで、平成22年のセンサスの337,117aから2,505a増加し、増加率は0.7%となっている。

また、農家一戸当りの経営耕地面積は、平成27年センサスでは184.9aとなり、利用権設定、経営受委託等の理由により増加している。

(単位：a)

区 分		年		
		平成17年	平成22年	平成27年
経営耕地総面積		327,600	337,117	339,622
う ち	田	325,504	316,560	330,712
	畑	10,545	10,179	8,256
	果樹	1,068	861	689
経営耕地のある農家戸数		2,863	2,242	1,837
一戸当り経営耕地面積		114.4	150.4	184.9

資料：各年農林業センサス

※平成17年数値については、旧武生市・旧今立町の数値を合計したものである。

(5) 農業生産の動向

水稻品種別出荷実績（JA出荷分）

(単位：俵)

区 分		平成27年産	平成28年産	平成29年度
ハナエチゼン	JA越前たけふ出荷分	19,825	15,439	14,532
	JAたんなん出荷分	5,404	6,270	5,950
	計	25,229	21,709	20,482
コシヒカリ	JA越前たけふ出荷分	33,317	41,145	34,343
	JAたんなん出荷分	5,806	6,028	5,552
	計	39,123	47,173	39,895
アキサカリ	JA越前たけふ出荷分	8,026	12,024	10,450
	JAたんなん出荷分	1,195	846	619
	計	9,221	12,870	11,069
日 本 晴	JA越前たけふ出荷分	19,783	30,122	22,019
	JAたんなん出荷分	5	0	0

	計	19,788	30,122	22,019
そ の 他	J A越前たけふ出荷分	1,171	454	470
	J Aたんなん出荷分	3	57	56
	計	1,174	511	526
も ち	J A越前たけふ出荷分	600	752	689
	J Aたんなん出荷分	27	30	22
	計	627	782	711
計	J A越前たけふ出荷分	82,722	99,936	82,503
	J Aたんなん出荷分	12,440	13,231	12,199
	計	95,162	113,167	94,702
飼 料 用 米	J A越前たけふ出荷分	8,112	12,296	12,559
	J Aたんなん出荷分	342	0	0
	計	8,454	12,298	12,559
加 工 用 米 (備蓄米)	J A越前たけふ出荷分	16,215	17,973	17,778
	J Aたんなん出荷分	3,104	2,555	2,440
	計	19,319	20,528	20,218
輸 出 用	J A越前たけふ出荷分	0	0	0
	J Aたんなん出荷分	0	0	0
	計	0	0	0

大麦栽培の状況

区 分		平成 27 年産	平成 28 年産	平成 29 年度
作 付 面 積 (ha)	J A越前たけふ出荷分	404.8	392.1	347.1
	J Aたんなん出荷分	62.6	65.6	64.7
	計	467.4	457.7	411.8
検 査 数 量 (kg)	J A越前たけふ出荷分	1,133,424	805,643	878,597
	J Aたんなん出荷分	156,619	171,557	176,161
	計	1,290,043	977,200	1,054,758
10a 当 収 量 (kg)	J A越前たけふ出荷分	280.0	205.4	253.1
	J Aたんなん出荷分	250.2	261.5	272.3
	平均	276.0	213.5	256.1

主な野菜の出荷状況

区 分		年		
		平成 27 年産	平成 28 年産	平成 29 年度
ス イ カ	作付面積 (ha)	5.9	5.1	5.4
	出荷量 (t)	99	114	115
	出荷額 (千円)	19,399	19,070	16,461
キ ュ ウ リ	作付面積 (ha)	2.2	1.6	1.6
	出荷量 (t)	91.3	63.2	70.5
	出荷額 (千円)	32,613	28,109	26,360
ト マ ト	作付面積 (ha)	2.9	1.9	3.4
	出荷量 (t)	135.9	116.7	151.9
	出荷額 (千円)	47,036	42,539	51,416

区	乳 牛	肉 用 牛	豚	採 卵 鶏
---	-----	-------	---	-------

	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	羽数
平成 27 年	2	44	1	88	4	2,286	5	50,330
平成 28 年	2	18	2	95	4	2,266	5	49,450
平成 29 年	1	12	2	60	4	2,382	5	49,330

家畜飼育状況

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

15 大規模共同利用施設

(1) 米麦大規模乾燥調製施設

名 称	設置主体	設置年度	施設規模	備考
東部カントリーエレベーター	J A 越前たけふ	昭和 51 年度	貯蔵能力 3,000 t (300 t × 10 基)	麦併用
西部カントリーエレベーター	J A 越前たけふ	昭和 54 年度	貯蔵能力 3,000 t (300 t × 10 基)	休止中
中央カントリーエレベーター	J A 越前たけふ	昭和 62 年度	貯蔵能力 3,000 t (300 t × 10 基)	
今立カントリーエレベーター	J A たんなん	平成 7 年度	貯蔵能力 1,800 t (50 t × 36 基)	常温除湿乾燥方式
東部カントリーエレベーター	J A 越前たけふ	平成 24 年度	乾燥設備 (7 t × 4 基) 集塵設備	

(2) 米バラ出荷施設

名 称	設置主体	設置年度	施設規模
良質米出荷施設	J A 越前たけふ	平成 10 年度	貯蔵能力 3,000 t

(3) 水稻育苗施設

運営主体	設置主体	生産能力	設置年度
大虫育苗センター施設利用組合	J A 越前たけふ	43,000 箱	昭和 46 年度
北日野育苗施設利用組合	J A 越前たけふ	38,000 箱	昭和 48 年度
白山育苗センター利用組合	J A 越前たけふ	36,000 箱	昭和 53 年度
吉野地区育苗利用組合	J A 越前たけふ	10,000 箱	昭和 61 年度
坂口育苗施設利用組合	坂口育苗施設利用組合	30,000 箱	昭和 62 年度
王子保東部地区育苗施設利用組合	J A 越前たけふ	24,000 箱	平成 3 年度

J A た ん な ん	J A た ん な ん	80,000 箱	平成 10 年度
-------------	-------------	----------	----------

16 農業委員会

(1) 農業委員 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

選出別		項目	委員数
選 任		農 協	3 人
		認 定 農 業 者	6 人
		農 業 従 事 者	2 人
		土 地 改 良 区	1 人
		中 立 委 員	1 人
合 計			13 人

(2) 農地利用最適化推進委員 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

選出別		項目	委員数
合 計			14 人

(3) 農地法に基づく許可事務実績

年	事項	農地法第 3 条 権利・設定・移転		農地法第 4 条 農地の転用		農地法第 5 条 農地の転用に伴う所有権の移 転及びその権利の設定	
		件数	面積(a)	件数	面積(a)	件数	面積(a)
平成 24 年		60	912	29	106	89	789
平成 25 年		48	718	18	81	62	619
平成 26 年		43	795	18	123	77	757
平成 27 年		33	830	13	67	90	765
平成 28 年		46	930	13	106	59	1400
平成 29 年		66	1600	11	55	105	1628

17 農村生活改善施設等

(1) 農村婦人の家

農村婦人がグループで地域社会に必要な生活知識、技術、教養を身につけるとともに、余暇を楽しく有意義に過ごすことを目的として活動するための拠点施設として設置

設置年度	事業内容	事業費	財源内訳	所在地
昭和 58 年度	鉄骨造平屋建 敷地面積 1,028.84 m ² 建築面積 208.37 m ²	27,500 千円	国 1/2 県 1/10	家久町
平成 13 年度	増築 建築面積 47.96 m ²	10,000 千円	県 1/3	

(2) もやいの郷・農楽園

農林業者が農林業特産物の集出荷及び加工などによる特産物開発を推進する拠点施設として設置

設置年度	事業内容	事業費	財源内訳	所在地
平成 10 年度	木造 2 階建 敷地面積 3,084.00 m ² 建築面積 749.37 m ²	188,650 千円	県 1/2	横住町

18 農用地利用計画 (越前市農業振興地域整備計画)

基幹作目である米及び野菜、畜産の生産基盤として、生産性の高い優良農地や総合的な農業経営に必要な山林を含めた地域を農業振興地域と定め、農用地の確保を図る。

農業振興地域の概要

平成 30 年 3 月 31 日現在(単位: ha・%)

区分 地域	農用地		農業用 施設用地		山林原野		その他 (宅地・工業用地等)		計	
	面積	比率	面積	比率	面積	比率	面積	比率	面積	比率
越前市	3,782.57	48.8	8.06	0.1	787.5	10.2	3,176.06	41.0	7,754.20	100

19 生産調整

(1) 米の生産目標数量及び実績

	平成 29 年産米 生産目標数量	同生産目標数量 換算面積	主食用水稲 作付面積	比率
越前市	11,460 t	2,192 ha	2,142ha	97.72 %
福井県	122,787 t	23,658 ha	23,274ha	98.38 %
全 国	7,350,000 t	1,390,000 ha	1,380,000 ha	99.28%

20 中山間地域等直接支払制度

(1) 平成 29 年度対象地域

区 分	対象地区	対象面積	交付金額	財源内訳
指定地域 (特定農山村法の指定地域)	坂口、味真野、 岡本、服間	848,945 m ²	17,422 千円	国 1/2 県 1/4 市 1/4
特認地域 (県知事が地域の実態に応じ て指定する地域)	白山、神山、 大虫、北日野、 吉野	907,259 m ²	18,566 千円	国 1/3 県 1/3 市 1/3

21 越前市食と農の創造ビジョン

本市農業の活性化を図るため、10年後のあるべき姿・目指すべき姿を示す「越前市食と農の創造ビジョン」の基本構想を平成21年3月に策定した。平成21年4月には、基本構想に掲げた目指す姿の実行性を高めるため、「越前市食と農の創造条例」を施行した。平成27年3月には、平成27年度から5年間の第2次基本計画を策定し構想の実現を図る。

- ① からだとところを育む潤いのある食の実現
 1. 食育の推進
 2. 地産地消の推進
- ② たくましく自立する農業、環境に配慮したこだわりのある農業、生きがいとしての農業など多様な農業の実現
 1. 人材育成及び確保
 2. 農業経営の安定
 3. 環境調和型農業の推進
 4. 農産物特産化の推進
 5. 農地の有効利用の促進及び確保
- ③ 農を基盤とした豊かな自然環境と人と人が結ばれた地域社会の実現
 1. 農村景観の保全
 2. 農村の資源を活かした学びあいと交流活動の推進
 3. 生産基盤の整備・維持管理

22 里地里山の保全再生（コウノトリが舞う里づくり事業）

里地里山の自然は、人が手をかけ守ってきた自然で、そこには多くの生き物が生息していた。しかし、社会経済の進展に伴い里地里山の価値が低下し、人の手が加わらなくなり、多くの生き物の絶滅が危惧されている。

このような状況の中で、越前市西部地域は里地里山の自然が守られ、国内で最も絶滅の危機に瀕している両生類であるアベサンショウウオの国内最大の生息地であり、他にもメダカやゲンゴロウなど国や県レベルで多くの絶滅危惧種が生息する県内有数の希少野生生物の宝庫である。

コウノトリに縁のある本市では、コウノトリをシンボルに、豊かな自然環境や歴史・文化を未来の世代に伝え、自然の恵みを楽しむ持続可能な「生きものと共生する越前市」を目指すために「コウノトリが舞う里づくり構想」（平成22年度）と「同実施計画」（平成23年度）を策定し、これらを統合し「コウノトリが舞う里づくり戦略」（平成24年度）としてまとめた。

平成27年度に後半の実施計画の策定を行い、各基本方針に対して以下の目的に重点を置き、年次計画と数値目標を示している。ただし、この構想の期間は（前半：平成23年度～27年度、後半：平成28年度～32年度までの10年間）であるが、平成26年度に改定された「越前市食と農の創造ビジョン」と共通部分が多くあり、平成31年度の同ビジョン改定作業時に統合するため、後半の計画は平成31年度までの4年間とした。

（1）平成29年度の取組み

- 休耕田を利用したビオトープ整備（曾原町、上杉本町、中津原町、中山町）
- 水田魚道の設置2箇所（下別所町）
- モデル水田退避溝の整備（二階堂町、中野町、黒川町、90a）
- 総ヶ谷ダム外来魚駆除及び駆除方法の検証（捕獲方法検証）
- 特定外来生物オオフサモの防除及びモニタリング（安養寺町農業排水路）
- コウノトリの野外定着推進のためドジョウ養殖試験の実施

- アベサンショウウオの保全とモニタリング（産卵場所の保全整備）
- 2017コウノトリが舞う里づくり大作戦（ふくい農業ビジネスセンター）の開催
- コウノトリが舞う里づくり図画コンクールの実施（応募323点）
- コウノトリが舞う里づくり写真コンテストの実施（応募33点）
- 越前市にコウノトリ呼び戻す田んぼファンクラブ事業
- コウノトリPR館の特別展示（しらやまいこい館内）
- 総合的な学習の時間における環境学習実施（白山小学校、武生第五中学校）
- ごはん塾 4回（たけふ菊人形イベント、まるごと食の感謝祭ほか）

（2）コウノトリ飛来・放鳥

本市では、平成 22 年から野外コウノトリの飛来が毎年確認され、平成 22 年に「えっちゃん」（J 0016、メス）が 107 日間にわたり市南部地域を中心に滞在したほか、西部地域（白山・坂口地区）を中心に、平成 29 年度まで 8 年連続で飛来している。平成 28 年度には自然繁殖として福井県内で 51 年振りの産卵があり残念ながらヒナ誕生には至っていないが、今後の自然繁殖を大いに期待している。

また、平成 23 年 12 月から白山地区で福井県と兵庫県の共同研究により行われている、コウノトリの飼育・繁殖試験において、平成 29 年 5 月には托卵によりくちばしの折れたコウノトリ「コウちゃん」の孫にあたる「かけるくん」と「ほまれくん」が誕生し、同年 10 月に放鳥された。

23 土地改良事業の状況

最近の農業情勢は、厳しいものがあり、需要に対応した食糧の安定的供給、他産業従業者との所得格差の是正等を図るとともに農村環境の整備拡充のための総合的な土地基盤整備事業を推進する。

（1）農業用水

本市の農業用水は、日野川・吉野瀬川・春日野川・鞍谷川・大塩谷川・文室川・荒谷川・月尾川・水間川・服部川の表流水に依存し、一部を溪流水・ため池・地下水等によりかんがいされている。主要幹線用水路は、松ヶ鼻用水・日野用水・五ヶ用水・芝原用水・家久用水等がある。

ア 用水利用状況

農業用水の利用は推定で河川約 74%、溜池 14%、地下水 6%、溪流水 6%となっているが、農地の汎用化等による水需要の安定供給及び高度の水管理に対処するため、国営事業により日野川上流に農業用水を主とした多目的の榊谷ダム・八乙女頭首工・主幹線用水路を設け、併せて県営事業等により末端水路の整備を行ってきた。

イ かんがい排水事業

区 分	区 名	受益 面積 (ha)	実施年度 (年度)	事 業 費 (千円)	主 要 工 事	
県 営	日 野 用 水	700	S24～S26	13,230	用水路	ℓ= 1,310m
〃	武 生 西 部	601	S27～S30	37,368	用水路	ℓ= 6,935m
〃	日 野 川 左 岸	150	S41～S46	133,373	排水路	ℓ= 1,620m
〃	松 ケ 鼻	1,000	S36～S51	1,145,701	頭首工 用水路 排水路	1 門 ℓ=11,000m ℓ= 5,091m
〃	松 ケ 鼻 東 部	436	S56～H16	3,326,000	揚水機 管水路	2 基 ℓ=58,300m
〃	松 ケ 鼻 西 部	547	S61～H16	4,674,420	揚水機 管水路	2 基 ℓ=92,600m
〃	松 ケ 鼻 中 央	441	H 2～H16	2,940,000	排水路	ℓ= 5,287m
〃	日野川用水中央 2期	1,485	H 3～H18	9,500,000	パイプライン	ℓ= 41.3km
〃	日野川用水右岸 2期	1,290	H 3～H18	9,900,000	パイプライン	ℓ= 55.9km
〃	日野川用水左岸 2期	1,456	H 6～H18	11,400,000	パイプライン	ℓ= 66.1km
〃	沖 田 川	205	H 6～H18	1,912,800	排水路	ℓ= 2,410m
〃	武 生 南 部	49.8	H12～H20	743,000	パイプライン	ℓ= 13.2km
〃	武生南部第2	62.3	H13～H20	1,226,000	パイプライン	ℓ= 23.9km
〃	松 ケ 鼻 南 部	58.2	H19～H22	250,000	排水路	ℓ= 3,100m
〃	平 吹	99.8	H20～H25	653,450	パイプライン	ℓ= 14.7km
団体営	平 出	31	S41	4,000	取水工	1 門
〃	吉 野 瀬	130	S49～S51	90,000	転倒ゲート	1 門
〃	北 日 野 南 部	22	S50～S52	12,000	揚水機	一式
〃	余 田	44	S54～S55	21,700	揚水機 用水路	一式 ℓ= 945m
〃	本 保	111	S61～S63	26,500	用水路	ℓ= 600m
〃	余 田 東 部	22	H 元～H 2	11,300	揚水機	一式
〃	杉 崎	75	H 元～H 3	47,800	排水路	ℓ= 1,626m
〃	大 屋	16	H 5	91,000	用水路	ℓ= 880m
〃	塚	32	H 6	70,000	排水路	ℓ= 1,050m
〃	中 新 庄 西 部	20	H 7	28,000	排水路	ℓ= 840m
〃	杉 崎 第 2	30	H 7	78,000	排水路	ℓ= 720m
〃	本 保 第 2	26	H 7	85,000	排水路	ℓ= 5,500m

ウ 国営日野川用水地区

本事業は越前市ほか5市町にまたがる5,610haの農業用水と生活用水、工業用水の開発を目的に農業、工業、上水治水の四者共同事業として実施した。

なお、末端については、県営及び団体営土地改良事業にて整備した。

(ア) 計画の規模

区 分	越前市	鯖江市	南越前町	越前町	福井市	計
農業用水 (ha)	2,695	1,750	393	—	772	5,610
上水道用水 (m ³ /日)	25,000	20,000	1,600	1,800	3,500	51,900
工業用水 (m ³ /日)	21,000	10,000	—	—	—	31,000
治 水	100年に一回起きるような大洪水から守り、渇水時の水補給(流水の維持管理)					

(イ) 榭谷ダムの概要

総貯水量 25,000 千m³

有効貯水量 23,100 千m³

《有効貯水量内訳》

農 水 13,670 千m³

上工水 5,080 千m³

治 水 4,350 千m³

(2) 農業用道路

本市内の農道は広域農道及び農免道路を基幹として新設・改良した以外は、ほとんど圃場整備事業により砂利道として造成されており、今後、農村環境及び農作物の集出荷等の合理化に資するため計画的に舗装事業を推進する。

ア 農道の現況

農道延長

平成30年3月31日現在(単位:m)

		W<4.0	4.0≤W	合 計	内舗装延長
国	高	2,718.5	3,781.5	6,500.0	3,844.5
北	新 庄	1,462.6	7,084.2	8,546.8	6,876.0
北	日 野	3,853.2	10,095.5	13,948.7	9,928.2
味	真 野	11,372.0	15,619.7	26,991.7	19,067.1
吉	野	5,789.0	11,217.4	17,006.4	7,550.0
大	虫	7,825.0	10,997.0	18,822.0	10,917.6
神	山	9,066.0	10,499.3	19,565.3	9,126.0

王 子 保	8,676.8	22,924.1	31,600.9	19,871.3
白 山	21,398.9	31,473.9	52,872.8	21,796.2
坂 口	11,455.0	6,096.3	17,551.3	5,120.0
栗 田 部	2,059.3	966.9	3,026.2	2,953.4
岡 本	4,240.7	2,090.3	6,331.0	6,159.0
南 中 山	2,740.0	10,553.9	13,293.9	13,293.9
服 間	6,285.0	5,838.1	12,123.1	11,570.5
合 計	98,942.0	149,238.1	248,180.1	148,073.7

イ 農道整備事業

	事業名	地区名	事業概要	工期	事業費(千円)	備考
県 営	広域農道整備	丹 南	幅員 6.0m 延長 13,500m	S47~H 7	4,909,900	完了
	農道保全	越 前	〃 6.0 〃 3,530	H20~H24	527,000	完了
	農免道路整備	武 生	〃 5.5 〃 2,373	S41~S43	38,794	完了
	〃	白 山	〃 5.5 〃 2,900	S57~H 3	934,800	〃
	〃	白山二期	〃 5.5 〃 1,400	S58~H 3	471,000	〃
	〃	南 条	〃 5.5 〃 2,450	H 3~H16	1,521,390	〃
	〃	武 宮	〃 5.5 〃 468	H 5~H14	285,000	〃
	一般道路整備	今立中部	〃 6.0 〃 3,580	S53~S57	145,000	〃
	〃	味真野	〃 5.5 〃 2,030	S59~H 2	144,000	〃
	〃	青 武	〃 5.5 〃 1,730	S58~H 4	316,500	〃
	〃	大 虫	〃 5.5 〃 3,290	S60~H13	1,006,000	〃
	ふるさと農道	武生東部	〃 6.0 〃 1,090	H 6~H10	650,000	〃
	ふるさと農道	武生・宮崎	〃 5.5 〃 1,012	H10~H14	2,720,000	〃
農免道路整備	味真野	〃 5.5 〃 2,647	S46~S48	87,282	〃	
市 営	農道整備	上小松、平林、北新庄、横根、大屋、北山、三ツ屋、池ノ上、上太田、萱谷、白崎第2、長尾、高木、白崎、真柄、片屋、北、西谷、平吹、向新保、三ツ俣、宮谷、家久、下四目、春日野、安養寺、上真柄、広瀬、戸谷、余田、栗田部、西檜尾、東庄境、藤木、赤坂、国中、山室、南坂下、高岡 総延長 51,843m		S51~H 7	925,800	完了
	軽微な改良	五分市、下太田、北山、大塩、武生東部、武生西部、広瀬、王子保西部第1、武生西部第2、武生東部第2、広瀬第2、武生西部第3、武生東部第3、武生西部第4、武生東部第4、武生西部第5、武生東部第5、白山、王子保、大虫、武生中央、武生東部、西檜尾、服部、水間、水間第2、東庄境、藤木、山室、杉尾、中印、波垣、中津山、横住、新堂、相木、清根、南坂下 総延長 31,164m		S51~H13	470,400	完了

(3) 農用地の整備状況

ア 圃場の区画、用排水完備状況

圃場の区画は本市の場合、設計の基準を農作業上 30m×100mを基本としているが、圃場の条件によりその区画も変更されている。現状は 25~30 a が最も多い。

昭和 24 年に土地改良法が制定されて以来、県営、団体営等により積極的に推進し、平成 16 年度までの施行面積は 3,591ha となっている。

区画別面積割合				基幹川排水状況面積割合		
10 a 未満	10~20 a	21 a 以上	計	用排水完備	用排水不完備	計
5.3%	12.0%	82.7%	100%	79.5%	20.5%	100%

イ 圃場整備事業

土地改良区	事業名	地区名	実施年度	事業量 (ha)	事業費 (千円)	10a当り 事業費
松ヶ鼻 土地改良区	県圃	武生東部	S41～S49	388.1	746,000	192
	構造改善	北日野	S38～S40	118.9	83,473	72
	〃	北日野中部	S40～S42	83.4	106,740	128
	団圃	矢放	S39～S41	29.4	26,857	91
	〃	大屋	S41～S47	134.4	132,914	99
	〃	北日野南部	S42～S45	85.1	124,800	146
	〃	高木	S49～S52	66.4	227,729	343
	〃	塚	S55～S59	39.5	246,440	624
武生西部	県圃	武生西部	S40～S47	424.8	767,800	181
武生吉野瀬	団圃	本保	S43～S45	31.2	33,614	108
	〃	家久	S53～S56	40.9	191,132	467
武生味真野	県圃	味真野	S48～S61	328.8	1,581,000	481
	構造改善	文室	S54～S55	18.0	187,570	1,042
武生鞍谷	団圃	蓑脇	S52～S57	25.9	202,500	781
	定住	中居	S59～S62	(9.3) 3.5	(117,000) 33,700	1,258
南条西部	県圃	南条西部	S52～S59	100.1	372,000	371
武生広瀬	団圃	広瀬	S36～S37	107.5	62,014	57
	〃	当ヶ峰	S39～S41	22.6	20,331	89
	〃	池ノ上	S44～S48	65.5	156,740	239
	農用地 利用増進	広瀬	S51～S53	7.8	33,000	423
王子保西部	団圃	王子保西部	S42～S43	31.5	22,400	71
	構造改善	〃	S42～S44	107.0	138,566	129
王子保南部	団圃	王子保南部	S46～S49	128.5	351,513	273
白山安養寺	〃	安養寺	S45～S48	85.3	253,037	298
白山	営 農地開発	白山	S47～S62	267.9	3,546,407	1,300
坂口	団圃	坂口	S48～S52	90.1	497,850	553
下平吹共同施行	〃	下平吹	S52～S55	25.1	156,100	621
中山共同施行	モデル	中山	S58	2.7	28,200	1,658
勾当原共同施行	新農耕 地区再編	勾当原	S60	3.2	35,100	84
王子保共同施行	小規模排水 対策特別	今宿	S61～S62	15.6	194,000	1,244
四郎丸共同施行	活性化農構	四郎丸	H2～H3	8.4	55,500	661
今立東部	団圃	今立東部	S40～S50	178.6	271,708	152
今立南部	〃	今立南部	S41～S50	78.2	126,000	161
今立西部	〃	今立西部	S46～S50	63.0	140,747	223
今立中部	県圃	今立中部	S47～S57	198.8	991,000	499
非補助		43地区	S39～H7	175.9	881,368	500

(4) 諸土地改良事業

区分	事業名	地区名	実施年度	事業費 (千円)	主要工事
県 営	老朽溜池整備	白 崎	S52～S53	93,984	堤塘 一式
"	"	北 山	S54～S56	70,500	"
"	"	氷 坂	S55～S57	74,000	"
"	"	広 瀬	S60～S63	87,000	"
"	溜池等整備	日 野	S63～H 8	533,000	用排水路 $l=4,683\text{m}$
"	"	武生東部	H 5～H10	282,000	水門 2 用排水路 $l=1,440\text{m}$
"	"	不 老	H 7～H 8	90,000	提体工 一式 付帯工 一式
"	土地改良総合整備	北 新 庄	S57～H 2	476,936	暗渠排水 91.6ha 用排水路 $l=9,217\text{m}$
"	"	今立東部	S59～H 6	392,000	用排水路 $l=25,380\text{m}$ 農道 $l=280\text{m}$
"	"	武生白崎	S61～H 5	397,000	暗渠排水 59.3ha 用排水路 $l=8,143\text{m}$
"	水田農業確立排水 対策特別事業	今立西部	H 2～H 4	44,000	排水路 $l=850\text{m}$
"	"	中 新 庄	H 5～H 6	233,200	排水路 $l=3,330\text{m}$
"	水田農業活性化排水 対策特別事業	真 柄	H 5～H 6	363,000	排水路 $l=2,830\text{m}$
"	新生産調整推進排水 対策特別事業	北 新 庄	H 8～H10	221,550	排水路工 $l=1,710\text{m}$
"	基盤整備促進事業 (一般型)	中新庄北部	H12～H13	130,700	排水路工 $l=3,050\text{m}$
"	農業用河川構造物 応急対策事業	東 庄 境	S57～S61	86,600	頭首工 1カ所
"	"	西 庄 境	H 8～H10	80,000	取水堰工 一式
"	土地改良総合整備事業 (担い手育成型)	今立中部	H 7～H13	700,000	用水路 $l=12,305\text{m}$ 排水路 $l=7,611\text{m}$
"	経営体育成基盤整備 事業(土地総)	今立中部第2	H10～H16	1,251,000	用水路 $l=18,772\text{m}$ 排水路 $l=5,022\text{m}$
"	緊急新生産調整 推進排水対策 基盤整備事業	西 谷	H12～H14	290,000	排水路工 $l=1,670\text{m}$
"	担い手育成基盤 整備事業 (高度利用型)	武生南部	H12～H20	743,000	排水改良 $A=44.3\text{ha}$ 暗渠排水 $A=45.9\text{ha}$
"	"	武生南部第2	H13～H20	1,226,000	排水改良 $A=65.9\text{ha}$ 暗渠排水 $A=75.6\text{ha}$
"	基幹水利施設 管理事業	日野川用水 一期地区	H18～		八乙女頭首工 一式 主幹線用水路 $l=17.7\text{km}$
"	基幹水利施設 管理事業	日野川用水 二期地区	H18～		榑谷ダム 一式 二ツ屋導水施設 一式
"	経営体育成基盤 整備事業	松ヶ鼻南部	H19～H22	277,000	用排水 $l=3,147\text{m}$ 暗渠排水 $A=58.2\text{ha}$
"	経営体育成基盤 整備事業	平 吹	H20～H25	738,600	用水路 $l=14,781\text{m}$ 客土 $A=6.9\text{ha}$
"	かんがい排水事業	武生承水路	H21～H25	550,000	排水路工 $l=2,044\text{m}$

区分	事業名	地区名	実施年度	事業費 (千円)	主要工事
県 営	農業用河川工作物 応急対策事業	松ヶ鼻	H21～H25	1,075,900	水門工 一式 堰柱等補強工 一式
〃	農村災害対策 整備事業	北日野西部	H24～H26	781,800	排水路工 $\ell=2,416.6\text{m}$
〃	榑谷ダム小水力発電 整備事業	榑谷ダム	H26～H28	323,300	発電設備 一式
〃	基幹水利ストマネ 事業	武生承水路 第二	H26～H28	102,000	排水路工 $L=1,005\text{m}$
団体営	基盤整備促進事業 (ほ場整備担手型)	武生中平吹	H12～H16	177,000	整地工 $A=9.4\text{ha}$ 用水路工 $\ell=1,700\text{m}$
〃	基盤整備促進事業	森久	H15～H18	160,000	整地工 $A=9.5\text{ha}$ 用水路工 $\ell=2,100\text{m}$
〃	〃	北	H18～H19	206,000	客土工 $A=16.9\text{ha}$ 排水施設 一式
〃	農業用河川工作物 応急対策事業	武生吉野瀬	H13	11,000	鋼裂巻上げゲート 2門
〃	農村地域農業 構造改善事業	今立	S54～S58	673,600	農道整備 8路線外
〃	土地改良総合整備	長尾	S54～S59	106,800	管路工 $\ell=2,200\text{m}$ 暗渠排水 17.1ha
〃	小規模排水対策	小野谷	S54～S55	41,500	排水路 $\ell=1,200\text{m}$
〃	土地改良総合整備	広瀬	S55～S59	232,000	用水路 $\ell=1,250\text{m}$ 揚水機 $\ell=9,790\text{m}$
〃	小規模排水対策	北	S56	23,200	暗渠排水 9ha 用排水路 $\ell=837\text{m}$
〃	集落排水事業	北	S59～S63	529,000	処理施設 一式 管路工 $\ell=7,847.6\text{m}$
〃	土地改良総合整備	小野谷中部	S63～H2	93,200	暗渠排水 14.2ha 排水路 $\ell=1,141\text{m}$
〃	水田農業確立排水 対策特別事業	真柄第一	S63	20,000	客土工 5.4ha
〃	構造改善推進モデル 集落整備事業	真柄	H元	33,000	客土工 9.0ha
〃	小規模排水対策 特別事業	畑	H4	73,000	排水路工 $\ell=1,500\text{m}$
〃	集落排水事業	塚	H元～H4	420,290	処理施設 一式 管路工 $\ell=2,713.9\text{m}$
〃	〃	平吹	H5～H8	694,630	処理施設 一式 管路工 $\ell=4,642.5\text{m}$
〃	〃（強化）	北	H5～H8	363,100	処理施設機能強化 一式 管路工 $\ell=518.4\text{m}$
〃	集落排水事業	白崎	H6～H10	1,870,430	処理施設 一式 管路工 $\ell=13,598\text{m}$
〃	老朽化溜池整備	横根	H2	20,000	堤塘 一式
〃	集落排水事業	安養寺	H11～H14	770,065	処理施設 一式 管路工 $\ell=5,731\text{m}$
〃	国営造成施設管理 体制整備促進事業	日野川用水	H18～H21	108,000	施設管理 一式

区分	事業名	地区名	実施年度	事業費 (千円)	主要工事
団体営	集落排水事業	大塩・国兼	H19～H25	774,000	処理施設一式 管路工 $\phi=5,800\text{m}$
〃	地域用水環境 整備事業	日野川用水	H24～H25	210,000	小水力発電 年間出力 100万KW (最大出力150KW)

(5) 農村総合整備モデル事業

年々多様化する農村環境改善に資するため、本市旧武生西部地区並びに旧今立地域において、昭和52年度より本事業を実施し平成10年度に完了している。

事業概要

(旧武生西部地区)

	工 種	事業量	事業費 (千円)	備 考
農業生産	圃場整備	2.7 ha	28,200	
	農道整備	12 路線	75,801	4,807m
農村環境基盤 整備	集落道整備	2 路線	9,199	609m
	営農飲雑用水施設整備	25 集落	983,300	水道管 34,691m
	用地整備	7 カ所	52,971	公園、センター
	安全施設	3 カ所	11,560	防火水槽、安全柵
農村環境	環境改善センター整備	1 棟	208,000	816 m ²
施設整備	農村公園整備	6 カ所	38,969	
合 計			1,408,000	

(旧今立地域)

	工 種	事業量	事業費 (千円)	備 考
生産基盤	圃場整備	13.3ha	167,566	2 団地 13.3ha
	農道整備	28 路線	267,684	9,270m
	農業用排水施設整備	12 路線	52,240	3,634m
環境基盤	集落道整備	27 路線	124,107	4,448m
	農業集落排水施設整備 (処理無)	14 路線	50,901	1,680m
	営農飲雑用水施設整備	3 系統	555,652	水道管 25,279m
	用地整備	1 カ所	3,100	1,100 m ²
	集落防災安全施設整備	6 カ所	20,050	防火水槽
環境施設	環境改善センター整備	2 棟	262,800	1,365.3 m ²
	農村公園整備	1 カ所	3,400	2,000 m ²
特 認	農村集落多目的 共同利用施設整備	1 棟	27,500	244.71 m ²
合 計			1,535,000	

(6) 市単土地改良事業

ア 事業の範囲（下記の条件を満たし事業費が 50 万円以上 200 万円未満のもの）

- (ア) かんがい排水施設整備（受益面積 1ha 以上）
- (イ) 農道整備（延長 100m 以上、幅員 2.5m 以上）
- (ウ) 橋梁整備（幅員 2.5m 以上）

イ 地元分担金 15%

(7) 多面的機能支払交付金

農地維持支払及び資源向上（施設の長寿命化を除く）

平成 29 年度の活動組織数 87 組織
 平成 29 年度の実績面積 2,951ha

資源向上支払（施設の長寿命化のための活動）

平成 29 年度の活動組織数 80 組織
 平成 29 年度の実績面積 2,771ha

24 林業

(1) 森林資源

(単位:ha)

森林総面積	立木地		竹林	無立木地		保有形態	
	人工林	天然林		伐採跡地	未立木地	公有	私有
14,186	7,819	6,091	136	0	108	981	13,171

〈資料〉平成 27 年度福井県林業統計書

(2) 林道事業

(単位:m)

区分	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
林道開設の推移	60	56	75
林道延長	147,765	147,821	147,896

〈資料〉林道台帳

森林基幹道の概要

路線名	幅員(m)	延長(m)	利用区域面積(ha)	利用区域蓄積(m³)	主な経由地
越前西部 1 号	5.0	22,320	1,393	277,230	越前市中津原－矢良巢岳－金華山－神土杉山－越前町六呂市
〃 2 号	5.0	14,916	1,596	161,443	越前市千合谷－若須岳－厨峠－城山－別司峠－越前町上山中
越前南部	5.0	18,008	1,923	385,607	越前市春日野－足谷山－ホノケ山－南越前町山中
計		55,244	4,912	824,280	

(備考) 1 号線 S58 年、2 号線 S60 年完成、南部線施行中

(3) 保健休養施設

ア 森林スポーツ林道（越前市池ノ上町）

昭和 51 年 10 月オープン 林道延長 1,034m 幅 3m

林道沿道のアスレチック遊具施設、使用料は無料
施設の維持管理は農林整備課が行っている。

イ 金華山グリーンランド（越前市米口町）

昭和 54 年 6 月オープン

森林を総合的に利用する自然休養施設として造成し、夏期間は林間キャンプ場として利用

林業構造改善事業にて昭和 55～56 年度においてバンガロー・休憩施設等を建設、また、昭和 62 年度に雨天時における待避や多目的に利用ができる休養施設 1 棟を拡充。平成 7 年度には新たな施設としてログハウス調のコテージを 4 棟増設し、利用者に好評を得ている。

施設の維持管理については金華山林業振興組合に委託している。

ウ ハツ杉森林学習センター（越前市別印町）

昭和 63・平成元年度にバンガロー施設を建設。平成 6～8 年度に休養施設・研修集会施設・木材工芸品等加工販売施設を建設。

自然体験・環境学習・生活実習が体験できる施設として、利用者に好評を得ている。

施設の維持管理については越前市文化振興・施設管理事業団に委託している。

(4) 松くい虫被害対策

松くい虫被害材積

(単位：m³)

区 分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
被害量	42.7	46.6	119.5

〈資料〉市業務資料

(5) 林産物等の生産量

区 分		平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
しいたけ (kg)	0	0	0	0
	9,882	9,882	10,442	11,260
カンタケ (kg)		271	388	810
栽培 栗 (kg)		1,415	1,436	1,760
木 炭 (kg)		150	42	0
粉 炭 (kg)		0	0	0
木 酢 液 (ℓ)		68	40	0

〈資料〉市業務資料

25 商 業

(1) 商業の概況

(平成 28 年経済センサス活動調査)

	商店数 (店)	従業者数 (人)	年間販売額 (百万円)
卸 売 業	254	1,483	56,166
小 売 業	738	4,364	81,115

(2) 商業の産業中分類別実数

(平成 28 年経済センサス活動調査)

		商店数(店)	従業者数(人)	年間販売額(百万円)
卸 売 業	各種商品卸売業	—	—	—
	繊維・衣服等卸売業	26	150	4,202
	飲食料品卸売業	48	314	12,362
	建築材料, 鉱物・金属材料等卸売業	50	362	18,892
	機械器具卸売業	49	352	14,609
	その他の卸売業	81	305	6,102
小 売 業	各種商品小売業	3	118	1,930
	織物・衣服・身の回り品小売業	99	299	3,665
	飲食料品小売業	232	1,574	25,845
	機械器具小売業	128	818	20,616
	その他の小売業	262	1,507	28,111
	無店舗小売業	14	48	948

◎ 商店街振興組合

平成 30 年 4 月 1 日現在

商店街名	会員数
中央広小路商店街振興組合	28
蓬萊本町商店街振興組合	17

商店街名	会員数
総社通り商店街振興組合	34

◎ 繁栄会他

商店街名	会員数
善光寺通り商店街	19
銀座通り商店街繁栄会	20
桜街路灯維持会	4

商店街名	会員数
武生本町通り 繁栄会	18
有明商店街	13
広小路 繁栄会	11

(3) 共同施設

年度	組 合 名	事 業 費	奨励金		備 考
			算定額	決 定	
					(総業費×20/100)
S49	総社通り商店街(協)	68,100,000	13,600,000	13,600,000	アーケード 87
S52	大山町繁栄会	608,000	120,000	120,000	街路灯 8基
S53	銀座通り商店街(協)	2,900,000	580,000	580,000	〃 20基
〃	武生木工センター(協)	940,000	728,000	720,000	建具塗装機械装置
S54	武生駅前通り商店街(株)	2,659,000	531,000	531,000	街路灯 23基
S55	有明商店街(振)	4,876,000	975,000	975,000	〃 27基
S56	下室町繁栄会	720,000	144,000	140,000	〃 6基
S57	本町通り商店街(振)	5,100,000	1,020,000	1,020,000	〃 30基
〃	芦山通り繁栄会	3,320,000	664,000	660,000	〃 23基
〃	善光寺通り商店街(振)	1,700,000	340,000	300,000	〃 47基
〃	北部商店街(振)	3,240,000	648,000	600,000	〃 24基
〃	〃	250,000	50,000	50,000	植樹(松) 32本
S58	上市通り繁栄会	2,040,000	408,000	400,000	街路灯 12基
〃	中央広小路商店街(振)	4,950,000	990,000	950,000	〃 17基
S59	鶴沢町通繁栄会	878,570	175,714	175,000	〃 7基
S60	中央広小路商店街(振)	1,400,000	280,000	280,000	〃 8基
S62	蓬萊本町商店街(振)	4,000,000	800,000	800,000	共同電光掲示広告塔 8基
S63	武生駅前通り商店街	903,400	180,680	180,000	街路灯 23基
〃	下広小路繁栄会	6,582,600	1,316,520	1,300,000	〃 14基
〃	芦山通り繁栄会	2,361,000	472,200	470,000	〃 15基
H 1	有明商店街(振)	5,098,500	1,019,700	1,000,000	〃 26基
H 2	深草通り繁栄会	159,200	31,840	30,000	〃 改修
H 3	蓬萊本町商店街(振)	9,537,717	1,907,543	1,900,000	アーケード 改修
〃	武生駅前商店街(振)	9,000,000	1,800,000	1,800,000	街路灯 18基
〃	武生電車通り商店街(振)	3,347,500	662,800	662,800	〃 8基
〃	武生市西善光寺街灯組合	964,380	192,876	192,000	〃 改修
H 4	越前打刃物産地(協)連合会	54,836,392	25,000,000	25,000,000	越前打刃物会館建設
〃	タケフナイフビレッジ(協)	310,225,976	18,000,000	18,000,000	共同工房建設
H 5	味真野商工会	8,320,000	1,660,000	1,660,000	街路灯 95基
〃	桜通り繁栄会	3,998,223	799,000	799,000	〃 19基
H 6	福井県中央トラック事業(協)	904,731	172,000	172,000	〃 10基
〃	総社通り商店街(振)	18,022,560	3,200,000	3,200,000	アーケード 改修
〃	味真野商工会	1,882,345	357,000	357,000	街路灯 26基
H 7	有明商店街(振)	11,741,950	2,260,000	2,260,000	〃 20基
〃	蓬萊本町商店街(振)	5,356,000	1,040,000	1,040,000	アーケード 改修
H 8	善光寺通り商店街(振)	2,624,385	520,000	520,000	サロン「洪悠」開設
H 9	武生本町通り商店街(振)	4,072,425	810,000	810,000	街路灯 30基
H10	幸町下室繁栄会	1,653,015	330,000	330,000	〃 6基
〃	蓬萊町中通り繁栄会	162,330	30,000	30,000	〃 1基
H11	芦山通り繁栄会	1,387,000	270,000	270,000	〃 5基
〃	北部商店街繁栄会	3,272,118	650,000	650,000	〃 24本
H12	中央広小路商店街(振)	36,400,875	7,280,000	7,280,000	〃 30基
〃	〃				足元灯 62基
H13	蓬萊本町商店街(振)	69,463,000	13,892,000	13,892,000	アーケード 改修
〃	〃	3,300,000	2,481,000	2,481,000	蔵の辻ゲート(南口)
H16	武生本町通商店街(振)	7,392,000	1,348,000	1,348,000	街路灯 30基
〃	有明商店街(振)	1,876,000	375,000	375,000	街路灯 4基
H17	善光寺通り商店街(振)	764,715	146,000	146,000	アーケード照明灯取替
〃	蓬萊中通り商店街繁栄会	384,300	76,000	76,000	街路灯取替 7基

(4) まちなか開業・地域助け合いビジネス支援事業補助

認定年度	認定件数	認定事業	備考
平成 27 年度	15 件	1 年目事業 6 件 2 年目事業 2 件 3 年目事業 7 件	平成 27 年度よりまちづくり武生株式会社への委託事業に変更 ※平成 29 年度から新制度「まちなか出店・改装促進支援事業」に変更のため、新規認定はない。
平成 28 年度	12 件	1 年目事業 5 件 2 年目事業 5 件 3 年目事業 2 件	
平成 29 年度	9 件	2 年目事業 4 件 3 年目事業 5 件	

27 工 業

(1) 工業の推移 (工業統計調査、平成 27 年は経済センサス)

年度	区分	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (万円)	製造品出荷額等の 県内比率 (%)
平成 24 年		335	13,829	47,089,459	24.3
平成 25 年		321	14,211	43,013,592	23.5
平成 26 年		315	14,726	47,364,061	25.1
平成 27 年		347	15,524	56,270,633	27.6
平成 28 年		299	15,946	53,566,505	26.3

〈従業者 4 人以上の事業所〉

(2) 工業団地

区分	団地名	王子保 工業団地	池ノ上 工業団地	大 虫 工業団地	北日野 工業団地	今 立 工業団地
敷 地 面 積		21ha	18ha	19ha	3ha	7ha
企 業 数		7 社	32 社	1 社	1 社	10 社
造 成 年		昭 45～昭 49 昭 53～昭 55	昭 50～昭 53 昭 58～昭 59 平 20～平 22	昭 59～昭 60 昭 63～平 元	平 13	平 13～平 14

28 産業活性化プラン

平成 17 年に「越前市産業活性化プラン」を策定し、産業活性化を「元気な産業の森づくり」に例え、知性と想像力に富んだ産業の森づくりに取り組んでいる。

平成 23 年には、国の「新成長戦略」を受け、地球環境に貢献するモノづくりを振興するため改定した。

平成 27 年には、国の「小規模企業振興基本法」及び市の「中小企業振興基本条例」の施行を受け、事業の持続的発展・事業継続に軸を置いた中小・小規模事業者への施策強化と企業立地促進補助金の対象及び限度額等の拡充を中心に改定した。

29 産学官連携ネットワークの設置 (平成 23 年度より)

産業支援の充実を図るため、産学官（市、商工団体、大学、福井高専、ふくい産業支援センター、中小機構、企業代表者、金融機関）でネットワークを組織し、年2回産学官ネットワーク有識者会議を開催。越前市産業活性化プランの進捗管理を行うことで、本プランの着実な実現を目指す。

30 越前市企業立地推進本部の設置（平成18年1月）

企業立地の重要性を全庁挙げて認識し、総合的な推進、迅速な対応を行うため、全庁的推進体制としての企業立地推進本部を設置した。

31 企業立地促進補助金

産業活性化プランを推進するため、企業立地促進補助金を拡充

平成 18 年 1 月 4 日施行（平成 29 年 10 月 1 日改正）

区分	補助金の種類	対象業種	対象地域	立地形態	種別	交付要件 (投下固定資産額 及び新規雇用者数)	補助対象経費	補助率	1 回限度額	総限度額	
生産施設	企業立地補助金	先端技術産業	市内全域	新設増設	-	10 億円以上かつ 10 人以上	土地取得費・造成費 建物建設 (生産施設以外の部分 は対象外)	20%	3 億円 (5 億円)	12 億円	
		一般製造業等	工業地域、準工業地域 農村地域工業導入地域 その他市長が特に認める地区		A	10 億円以上かつ 30 人以上			2 億円 (3 億円)		12 億円
		試験研究所	市内全域		-	1 億円以上かつ 10 人以上			3 億円	12 億円	
		情報サービス業			-	3000 万円以上 かつ 10 人以上			3 億円	12 億円	
	地球環境に貢献する モノづくり事業 補助金	先端技術産業 一般製造業等	市内全域	新設増設	-	5000 万円以上かつ 3 人以上	機械設備等 設置費	20%	2000 万円	6000 万円	
	持続的発展 生産設備増設等 事業補助金	一般製造業等		新設増設 更新	型 中小 模 小規	5000 万円以上かつ 3 人以上 2000 万円以上	上記の合計	10%	2000 万円 1000 万円	6000 万円 3000 万円	
	空き工場等 活用助成金	先端技術産業	市内全域	-	-	-	延床面積 600 m ² 以上かつ 3 人以上	土地・建物の 賃借費	1/2 (3 年分)	720 万円 (月額 20 万円)	なし
		一般製造業等						土地・建物の 取得費	20%	1000 万円	
		試験研究所									
		情報サービス業									
宿泊施設	ホテル等立地 補助金	旅館ホテル業	第 3 期中心市街地活性化 基本計画で定める区域	新設 増設	A	6 億円以上かつ 10 人以上	建物建設費 (建設工事費、電気設 備工事費及び機械設備 工事費に限る。)	20%	2 億円	-	
					B	3 億円以上かつ 3 人以上			1 億円		
非生産施設	環境・福利施設等 整備補助金	生産施設補助金の交付要件に該当する企業					①環境・福利施設等整備費 ②女性雇用促進環境 施設	①生産施設の床面積 1 m ² あたり 1,500 円 ②女性雇用促進環境 施設整備費×1/2	①1500 万円 ②500 万円	なし	

新規雇用	雇用促進補助金	生産施設補助金の交付要件に該当する企業	市内に住所を有する新規雇用の人件費	100 千円／人 *U1Jターン者 100 千円加算 *女性エンジニア 100 千円加算	2000 万円 *加算分は上限額には含まない	なし
------	---------	---------------------	-------------------	--	---------------------------	----

注 市外からの新設企業の場合に限り、1 回目の補助金の限度額

(1) 用地取得補助金 (旧武生市企業立地奨励金、旧今立町工場用地取得補助金)

(単位：千円)

年度	企業名	事業費	補助金	備考
S60	㈱福井村田製作所	939,931	15,000	旧武生市
S61	〃	—	15,000	旧武生市
S62	〃	—	20,000	旧武生市
H15	新生電子(株)	252,055	50,000	旧武生市
H16	ナカヤ化学産業(株)	193,184	46,733	旧今立町
〃	ダイヤロン(株) システムティック&ソリューションベース	89,699	18,700	旧今立町
H17	グリーンメタルズ北陸(株)	168,823	40,840	旧今立町

(2) 雇用促進補助金 (旧武生市企業立地奨励金、旧今立町雇用促進補助金)

(単位：千円)

年度	企業名	補助金	備考
S60	サンワ工業(株)	11,250	新規採用者市内 120人 市外 45人 (旧武生市)
S63	㈱福井村田製作所	15,000	〃 市内 200人 (旧武生市)
H3	信越化学工業(株)池ノ上工場	2,100	〃 市内 84人 (旧武生市)
H17	新生電子(株)	825	〃 市内 33人 (旧武生市)
H19	ナカヤ化学産業(株)	2,050	新規採用者 41人 (旧今立町：経過措置)
〃	グリーンメタルズ北陸(株)	50	新規採用者 1人 (旧今立町：経過措置)
H20	グリーンメタルズ北陸(株)	50	(旧今立町：経過措置 ~H20)

(3) 環境・福利施設等整備補助金 (旧武生市企業立地奨励金)

(単位：千円)

年度	企業名	事業費	補助金	備考
S59	アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)	33,760	31,040	植栽培緑化、駐車場舗装
S60	〃	48,460	43,200	〃
S61	〃	21,700	19,000	〃
H1	㈱福井村田製作所	421,000	90,000	駐車場用地
H9	〃	605,234	15,000	従業員用施設
H10	アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)	25,690	15,000	環境保全施設、融雪装置
H14	㈱福井村田製作所	45,962	15,000	従業員用駐車場
H16	アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)	20,182	15,000	従業員福利厚生施設

(4) 工場設置促進補助金 (旧今立町工場設置促進補助金)

(単位：千円)

年度	企業名	補助金	備考
H17	ナカヤ化学産業(株)	865	旧今立町 (固定資産税賦課分)
〃	ダイヤロン(株) システムティック&ソリューションベース	288	〃

H18	ナカヤ化学産業(株)	963	旧今立町(固定資産税賦課分)経過措置
〃	グリーンメタルズ北陸(株)	224	〃
H19	忠央容器(株)	510	〃
〃	ナカヤ化学産業(株)	1,490	〃
〃	グリーンメタルズ北陸(株)	424	〃
H20	忠央容器(株)	448	〃
〃	グリーンメタルズ北陸(株)	731	〃
H21	忠央容器(株)	300	〃

(5) 越前市企業立地促進補助金
(単位：千円)

年度	企業名	事業費	補助金	備考
H18	忠央容器(株)	90,140	18,929	用地取得費補助金
〃	キョーセイ(株)	78,712	15,742	建物建設・機械設備等設置補助金
〃	キョーセイ(株)	—	600	雇用促進補助金 市内雇用6人
H19	(株)福井村田製作所	10,800,000	30,000	建物建設・機械設備等設置補助金
〃	倉茂電工(株)①	252,970	30,000	〃
〃	アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)①	1,025,130	30,000	〃
〃	マルイチセーリング(株)	131,467	29,015	〃
〃	忠央容器(株)	269,220	58,080	〃
H20	(株)福井村田製作所	—	30,000	継続分：H19～H26
〃	倉茂電工(株)①	—	21,394	継続分：H19～H20
〃	アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)①	—	30,000	継続分：H19～H26
〃	ハッポー化学工業(株)	256,427	30,000	建物建設・機械設備等設置補助金 ～H21
〃	アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)②	1,001,710	30,000	建物建設・機械設備等設置補助金 ～H26
〃	倉茂電工(株)②	194,747	30,000	建物建設・機械設備等設置補助金 ～H21
H21	(株)福井村田製作所	—	30,000	継続分：H19～H26
〃	アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)①	—	30,000	継続分：H19～H26
〃	ハッポー化学工業(株)	—	22,985	継続分：H20～H21
〃	アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)②	—	30,000	継続分：H20～H26
〃	倉茂電工(株)②	—	10,449	継続分：H20～H21
〃	ナカヤ化学産業(株)	396,527	30,000	建物建設・機械設備等設置補助金 ～H23
〃	(株)オーシン・エム・エルピー	129,680	27,736	建物建設・機械設備等設置補助金

	キョーセー(株)	184,208	30,000	建物建設・機械設備等 設置補助金～H22
	(株)TOP	112,855	23,571	建物建設・機械設備等 設置補助金
H22	(株)福井村田製作所	—	30,000	継続分：H19～H26
	アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)①	—	30,000	継続分：H19～H26
	アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)②	—	30,000	継続分：H20～H26
	ナカヤ化学産業(株)	—	30,000	継続分：H20～H23
	キョーセー(株)	—	7,641	継続分：H21～H22
	岩谷産業(株)	333,698	30,000	土地取得・建物建設・ 機械設備等設置補助金 ～H24
	北陸リトレッド(株)	377,513	30,000	建物建設・機械設備等 設置補助金～H24
H23	(株)福井村田製作所	—	30,000	継続分：H19～H26
	アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)①	—	30,000	継続分：H19～H26
	アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)②	—	30,000	継続分：H20～H26
	ナカヤ化学産業(株)	—	21,848	継続分：H20～H23
	岩谷産業(株)	—	30,000	継続分：H22～H24
	北陸リトレッド(株)	—	30,000	継続分：H22～H24
	(株)テクニカフクイ	1,023,113	30,000	建物建設・機械設備等 設置補助金～H29
	福井アシックス工業(株)	230,761	30,000	建物建設・機械設備等 設置補助金～H24
H24	(株)福井村田製作所	—	30,000	継続分：H19～H26
	アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)①	—	30,000	継続分：H19～H26
	アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)②	—	30,000	継続分：H20～H26
	岩谷産業(株)	—	7,289	継続分：H22～H24
	北陸リトレッド(株)	—	16,901	継続分：H22～H24
	(株)テクニカフクイ	—	30,000	継続分：H23～H29
	福井アシックス工業(株)	—	3,833	継続分：H23～H24
	サンエー電機(株)	150,537	30,000	土地取得・建物建設・ 機械設備等設置補助金 ～H25
	忠央容器(株)	167,488	30,000	土地取得・建物建設・ 機械設備等設置補助金 ～H25
H25	(株)福井村田製作所	—	30,000	継続分：H19～H26
	アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)①	—	30,000	継続分：H19～H26
	アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)②	—	30,000	継続分：H20～H26
	(株)テクニカフクイ	—	30,000	継続分：H23～H29
	サンエー電機(株)	—	3,707	継続分：H24～H25
	忠央容器(株)	—	4,397	継続分：H24～H25

〃	(株) 一 乃 松	399,624	30,000	土地取得・建物建設・ 機械設備等設置補助金 ～H27
〃	(株) 福 井 急 行	266,433	30,000	土地取得・建物建設・ 機械設備等設置補助金 ～H26
H26	(株) 福 井 村 田 製 作 所	—	25,000	継続分：H19～H26
〃	アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)①	—	9,500	継続分：H19～H26
〃	アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)②	—	25,600	継続分：H20～H26
〃	(株) テ ク ニ カ フ ク イ	—	30,000	継続分：H23～H29
〃	(株) 一 乃 松	—	30,000	継続分：H25～H27
〃	(株) 福 井 急 行	—	25,585	継続分：H25～H26
〃	(株) 新 珠 食 品	432,758	30,000	土地取得・建物建設・ 機械設備等設置補助金 ～H28
〃	(株) ダ イ エ イ	126,724	20,000	地球環境に貢献するモ ノづくり事業補助金 ～H26
〃	柳 井 化 学 工 業 (株)	630,776	30,000	建物建設・機械設備等 設置補助金 ～H29
〃	ナ カ ヤ 化 学 産 業 (株)	538,404	30,000	建物建設・機械設備等 設置補助金 ～H29
H27	(株) オーディオテクニカフクイ	—	30,000	継続分：H23～H29
〃	(株) 一 乃 松	—	20,624	継続分：H25～H27
〃	(株) 新 珠 食 品	—	30,000	継続分：H26～H28
〃	柳 井 化 学 工 業 (株)	—	30,000	継続分：H26～H29
〃	ナ カ ヤ 化 学 産 業 (株)	—	30,000	継続分：H26～H29
〃	(株) T O P	658,042	30,000	土地取得・建物建設・ 機械設備等設置補助金 ～H31
〃	マ ル カ ワ み そ (株)	108,367	20,300	地球環境に貢献するモ ノづくり事業補助金
〃	小 野 谷 機 工 (株)	120,251	24,550	機械設備等設置補助金
H28	(株) オーディオテクニカフクイ	—	30,000	継続分：H23～H29
〃	(株) T O P	—	30,000	継続分：H27～H31
〃	(株) 新 珠 食 品	—	27,551	継続分：H26～H28
〃	柳 井 化 学 工 業 (株)	—	30,000	継続分：H26～H29
〃	ナ カ ヤ 化 学 産 業 (株)	—	30,000	継続分：H26～H29
〃	倉 茂 電 工 (株)	170,837	30,000	建物建設・機械設備等 設置補助金 ～H29
〃	アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)	16,187,444	30,000	建物建設・機械設備等 設置補助金 ～H35
〃	日 信 化 学 工 業 (株)	647,021	30,000	建物建設・機械設備等 設置補助金 ～H31
〃	(株) 福 井 村 田 製 作 所	10,148,657	30,000	建物建設・機械設備等 設置・環境・福利施設 等整備補助金 ～H35

〃	ナカヤ化学産業(株)	146,874	30,000	建物建設・機械設備等 設置補助金 ～H29
H29	(株)オーディオテクニカフクイ	—	27,481	継続分：H23～H29
〃	(株) T O P	—	30,000	継続分：H27～H31
〃	柳井化学工業(株)	—	10,800	継続分：H26～H29
〃	ナカヤ化学産業(株)	—	11,600	継続分：H26～H29
〃	倉茂電工(株)	—	4,667	継続分：H28～H29
〃	アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)	—	30,000	継続分：H28～H35
〃	日信化学工業(株)	—	30,000	継続分：H28～H31
〃	(株)福井村田製作所	—	30,000	継続分：H28～H35
〃	ナカヤ化学産業(株)	—	1,574	継続分：H28～H29
〃	信越化学工業(株)	6,762,377	30,000	建物建設・機械設備等 設置補助金 ～H39
〃	(株)武生環境保全	62,622	12,824	地球環境に貢献するモノ づくり事業補助金
〃	日信化学工業(株)	617,194	30,000	建物建設・機械設備等 設置補助金 ～H32
〃	信越化学工業(株)	5,056,298	30,000	機械設備等設置補助金 ～H39
〃	マルイチ産業(株)	20,396	2,039	持続的発展生産設備増 設等事業補助金
〃	(株)プレシス	87,923	8,792	持続的発展生産設備増 設等事業補助金
〃	ジャスパック(株)	60,313	6,031	持続的発展生産設備増 設等事業補助金

(6) 今立工業団地立地企業支援補助金

(単位：千円)

年度	企業名	事業費	補助金	備考
H21	ナカヤ化学産業(株)	1,630	815	電気代補助～H24 実績分
H22	ナカヤ化学産業(株)	2,386	1,193	電気代補助～H24 実績分
〃	岩谷産業(株)	475	237	電気代補助～H25 実績分
〃	(株)ダイエイ	7,202	3,601	電気代補助～H25 実績分
H23	ナカヤ化学産業(株)	2,174	1,087	電気代補助～H24 実績分
〃	岩谷産業(株)	1,134	567	電気代補助～H25 実績分
〃	(株)ダイエイ	10,250	5,125	電気代補助～H25 実績分
H24	ナカヤ化学産業(株)	4,760	2,380	電気代補助～H24 実績分
〃	岩谷産業(株)	1,142	571	電気代補助～H25 実績分
〃	(株)ダイエイ	11,470	5,735	電気代補助～H25 実績分
H25	ナカヤ化学産業(株)	4,110	2,055	電気代補助～H24 実績分
〃	岩谷産業(株)	1,064	532	電気代補助～H25 実績分
〃	(株)ダイエイ	14,028	7,014	電気代補助～H25 実績分
〃	(株)福井急行	2,164	1,082	電気代補助～H28 実績分
H26	岩谷産業(株)	566	283	電気代補助～H25 実績分
〃	(株)ダイエイ	1,200	600	電気代補助～H25 実績分

〃	(株) 福 井 急 行	7,172	3,586	電気代補助～H28実績分
H27	(株) 福 井 急 行	10,504	5,252	電気代補助～H28実績分
〃	(株) ダ イ エ イ	7,577	3,704	電気代補助～H30実績分
H28	(株) 福 井 急 行	10,093	5,046	電気代補助～H28実績分
〃	(株) ダ イ エ イ	5,503	2,751	電気代補助～H30実績分
H29	(株) 福 井 急 行	3,102	1,551	電気代補助～H28実績分
〃	(株) ダ イ エ イ	82	40	電気代補助～H30実績分

(7) 空き工場活用助成金

(単位：千円)

年度	企 業 名	事 業 費	補 助 金	備 考
H25	エイティーンズ電装(株)	4,800	3,500	家賃補助 H24～H27 実績分 市内在住者新規雇用分
H26	エイティーンズ電装(株)	4,800	2,400	家賃補助 H24～H27 実績分
H27	エイティーンズ電装(株)	4,476	2,238	家賃補助 H24～H27 実績分
〃	(株) 福 井 急 行 ①	1,917	1,158	家賃補助 H26～H29 実績分 市内在住者新規雇用分
H28	(株) 福 井 急 行 ①	2,556	1,277	家賃補助 H26～H29 実績分
	(株) 福 井 急 行 ②	1,200	800	家賃補助 H28～H31 実績分 市内在住者新規雇用分
H29	(株) 福 井 急 行 ①	2,556	1,277	家賃補助 H26～H29 実績分
〃	(株) 福 井 急 行 ②	4,800	2,400	家賃補助 H28～H31 実績分

32 越前モノづくりフェスタ

地元企業が一堂に会し、越前ブランド力を広く県内外へ紹介アピールし、販路拡大につなげていくとともに、次世代を担う子ども達のモノづくりの心を育てることにより技術の伝承・後継につなげ、地域産業の発展に寄与するために、市及び商工団体と実行委員会を組織し、開催する。

テーマ：「越前ブランド 世界へ発信」～魅せる逸品 光る技術～

総入場者数 53,600 人参加企業数 177 社

平成 29 年度越前モノづくりフェスタ開催負担金 12,816 千円、

33 越前ネクストクラフト事業

(1) 越前ネクストクラフト事業補助金

越前ネクストクラフト実行委員会が新規顧客開拓や販路拡大、商品開発等への支援及び創業に関する支援等を目的として行う産業支援事業の充実を図り、もって本市経済の持続的な発展に資することを目的として、実行委員会に対し補助金を交付する。

平成 29 年度 7,228 千円

事業内容 越前ものづくり塾：参加 21 社 21 人

商品開発支援：越前女紙倶楽部と商品開発(めがみのつつみ)

女性創業支援セミナー：参加 16 人

えちぜんモノづくりNET：サイト運営 (322 社登録)

(2) 展示会等出展支援事業補助金

中小企業者等の発展及び当市の産業振興に資することを目的に、中小企業者等が新規市場開拓、販路拡大及び受注回復を図るための展示会等への出展又は専門家等を招聘して行う現地見学会等に要する費用の一部を補助する。

平成 28 年度から女性チャレンジ出展補助を追加。女性創業者の市内外での展示会・販売会への出展に係る経費を一部補助する。

平成 27 年度 10 社、2,733 千円
 平成 28 年度 16 社、4,139 千円
 平成 29 年度 12 社、3,000 千円

34 伝統産業の現況

(1) 打刃物 (資料：越前打刃物産地協同組合連合会)

区 分	年度	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (万円)
打 刃 物	H27	28	104	90,700
	H28	26	109	107,000
	H29	27	113	128,000

(2) 和 紙 (資料：福井県和紙工業協同組合)

区 分	年度	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (万円)
和 紙	H27	60	350	280,669
	H28	58	332	274,164
	H29	58	319	260,369

(3) 箆 筒 (資料：越前指物組合)

区 分	年度	事業所数	従業者数
箆 筒	H27	21	43
	H28	21	44
	H29	15	35

(4) 業界団体

名 称	事業所数
福 井 県 和 紙 工 業 協 同 組 合	58
越 前 打 刃 物 産 地 協 同 組 合 連 合 会	45
越 前 打 刃 物 協 同 組 合	10
タケフナイフビレッジ協同組合	11
武 生 刃 物 卸 商 業 協 同 組 合	26
越 前 指 物 組 合	15
武 生 木 工 組 合	13
武 生 建 具 工 業 協 同 組 合	17

35 伝統産業振興施設

(1) 越前和紙の里紙の文化博物館 (越前市新在家町第 11 号 12 番地)

設置目的 越前和紙に関する資料の保存継承及び産業観光の振興
 開 所 昭和 49 年 4 月
 施 設 鉄筋コンクリート瓦葺き 2 階建 延 503 m²
 展示室、図書室、館長室、事務室
 工 事 費 48,582 千円
 増 設 平成 18 年 3 月
 施 設 展示収蔵庫 木造平屋建て瓦葺き 延 311 m²
 工 事 費 42,120 千円
 改 修 平成 29 年 3 月
 工 事 費 179,926 千円
 管 理 指定管理者制度により福井県和紙工業協同組合に委託
 開館時間 午前 9 : 00 ~ 午後 4 : 00
 休 館 日 火曜日、年末年始 (12 月 28 日 ~ 1 月 4 日)
 入 館 料 卯立の工芸館と共通で 200 円 (特定期間 300 円)

- (2) **越前和紙の里卯立の工芸館**（越前市新在家町第9号21番地の2）
- | | |
|------|---|
| 設置目的 | 越前和紙の伝統的紙漉き技術の保存継承及び産業観光の振興 |
| 開所 | 平成9年4月 |
| 施設 | 木造瓦葺き2階建 延462㎡
和紙工房、板の間、四つ目和室、展示室（2室）、倉庫 |
| 工事費 | 297,300千円 |
| 管理 | 指定管理者制度により福井県和紙工業協同組合に委託 |
| 開館時間 | 午前9:00～午後4:00 |
| 休館日 | 火曜日、年末年始（12月28日～1月4日） |
| 入館料 | 紙の文化博物館と共通で200円（特定期間300円） |

- (3) **越前市伝統産業交流宿泊施設「越前長屋」**（越前市新在家町第2号56番地）
- | | |
|------|--|
| 設置目的 | 伝統的工芸品産業の技法を習得するため市外から訪れる短期滞在者を通じて都市間交流と地域産業の活性化 |
| 開所 | 平成17年4月1日 |
| 施設 | 木造瓦葺き2階建 延412.8㎡
1戸当り 51.6㎡(2LDK) |
| 工事費 | 49,560千円 |
| 戸数 | 8戸 |
| 家賃 | 月額 30,000円 |

- (4) **越前市伝統産業体験施設「越前てわざ工房」**（越前市新在家町第2号56番地）
- | | |
|------|---------------------------------------|
| 設置目的 | 伝統的工芸品産業の作品製作を通じて都市間交流と地域産業の活性化 |
| 開所 | 平成17年4月1日（教職員寮を改装） |
| 施設 | 木造瓦葺き平屋建 延242.79㎡
工房、制作室、ミーティングルーム |
| 工事費 | 5,656千円 |
| 管理 | 指定管理者制度により福井県和紙工業協同組合に委託 |

36 工芸の里構想

平成27年3月に、「工芸の里構想」を策定し、平成27年度から10年間で推進期間とし、前期の平成31年度までの5年間で重点期間として位置付け、特に平成30年度の福井しあわせ元気国体の開催、平成32年度の東京オリンピックの開催、平成34年度の北陸新幹線敦賀開通が予定されている中、それらの波及効果を最大限発揮できるよう取組みを進めている。

当構想では、伝統工芸に共通するターゲットゾーンに「ハンドメイドの高級実用品」と定義づけ、産業活性化の中心に据え、かつ、それぞれ産地の産業ビジョンに限定されないように、

- 「クラフトマン（職人）が生き生き仕事するまち」＝産業振興
- 「クラフトツーリスト（旅行者）が滞在するまち」＝観光振興
- 「クラフトシチズン（市民）が豊かに暮らすまち」＝生活の質の向上

の3つの柱を横軸に、それぞれの産地を縦軸に備えることで、伝統産業全体の共有・連携による目指す姿や振興策を整理している。

さらに、当市の観光コンテンツを伝統工芸と歴史資源と位置付け、紙の文化博物館など産地の拠点施設の整備を進めるとともに、新幹線（仮称）南越駅を中心とするゾーン連携に関しても整理している。

37 工芸の里構想推進事業

(1) 越前和紙の里紙の文化博物館改修事業

紙の文化博物館は、和紙文化の発信拠点、産業観光の起点として、平成27、28年度に大規模改修を行い、国の重要有形民俗文化財の和紙や製紙用具の展示、越前和紙を使

用した絵画作品や、和紙の歴史を語る古文書などの展示会を実施する。

博物館の1階部分は平成29年4月8日にリニューアルオープンし、同年9月30日に全館フルオープンを行った。

事業費（継続費）	平成27年度	96,867,720円
	平成28年度	166,636,080円
	合計	263,503,800円

(2) 越前打刃物振興施設整備

越前打刃物技術の後継者を育成し、越前打刃物技術の保存継承を図ること、越前打刃物の歴史及び工芸文化を発信し、越前打刃物産業の振興に寄与することを目的に、平成29年度に整備。平成29年度に工芸開放試験場解体工事、施設整備工事他を実施。平成30年度には外構工事を実施する。平成30年8月24日にオープン（予定）

事業費	平成29年度	185,301,680円
-----	--------	--------------

(3) 伝統産業支援事業補助金

ア 越前和紙振興対策事業補助金

越前和紙の需要拡大を図るための事業に要する経費に対し補助する
平成29年度 2,000千円 福井県和紙工業協同組合

イ 越前打刃物振興対策事業補助金

越前打刃物の需要拡大を図るための事業に要する経費に対し補助する
平成29年度 1,903千円 越前打刃物産地協同組合連合会

ウ 越前指物振興対策事業補助金

越前指物の需要拡大を図るための事業に要する経費に対し補助する
平成29年度 3,653千円 越前指物組合

エ 海外展示会等出展支援事業補助金

海外展示会等への出展に要する経費に対し補助する
平成29年度 2,000千円 越前ブランドプロダクツコンソーシアム

オ 新需要・販路開拓振興補助金

産地交流会事業の企画制作、実施に要する経費に対し補助する
平成28年度 1,482千円 福井県和紙工業協同組合

カ 魅力的な拠点づくり事業補助金

生産現場見学のための工房等改修事業に要する経費に対し補助する
平成29年度 2件、1,000千円

キ 越前打刃物海外販売拠点強化事業補助金

海外販売拠点訪問に要する旅費、宿泊費等に対し補助する
平成29年度 8件、1,799千円

ク 伝統産業後継者育成対策補助金

伝統産業の伝統的な技術又は技法を引き継ぐ後継者を雇用している事業者に対し補助する。
平成29年度 17件、8,250千円

ケ 越前市伝統産業新規開業支援事業補助金

伝統的工芸品を製造するために新規に開業する者に対して開業者の事業活動に要する経費を補助する。
平成29年度 1件、138千円

コ 伝統産業ブランドイメージ向上補助金

紙祖神岡太・大瀧神社壺千参百年大祭に併せ、越前市のPRを首都圏等で行い全国から観光客を誘客するため、チラシ、ポスター等の作成に要する経費を補助する。

メディアを活用し、越前和紙の一般消費者に対するブランドイメージ向上を図るための情報発信等に要する経費を補助する。

平成 29 年度 500 千円 紙祖神岡太神社・大瀧神社 1300 年大祭実行委員会

(4) Wi-Fi 環境整備・多言語対応案内プログラム整備業務委託料

各伝統工芸の拠点施設、鉄道駅、市公共施設等から無料Wi-Fiエリアの整備を進め、日本人の来訪者をはじめ、外国人旅行者、地域住民が利用できる無料エリアの拡充を進める。

平成 28 年度は、紙の文化博物館に無料Wi-Fiを設置した。

また、和紙の里及び大瀧神社や各工房を含めた五箇地区で旅行者所有のスマートフォン等を利用した5箇国語・6言語で案内する多言語対応のガイドシステムを構築した。

平成 28 年度 11,669 千円

38 越前和紙の里紙の文化博物館

(1) 紙の文化博物館展示事業

紙の文化博物館において、特別展などを開催し、和紙文化を発信する。平成 29 年度においては、2 回、30 年度は 3 回の特別展を開催する。

特別展、「和紙の真髄―越前奉書の世界―」（その一、古典編）9 月 30 日～11 月 5 日、
（その二、近代編）2 月 10 日～3 月 12 日

常設展、「越前鳥の子」11 月 13 日～12 月 25 日、
「干支と金型」1 月 5 日～2 月 4 日、
「加藤家文書」3 月 17 日～4 月 24 日

39 越前市発新事業チャレンジ支援事業

(1) 新事業チャレンジ支援事業認定事業者とテーマ等の一覧

平成 27～29 年度

No	事業者名	住所	代表者氏名	事業の種別	テーマ	事業内容（特記）	新規性・独自性（特記）
53	高木商事(株)	越前市岩内町 31-1	代表取締役 谷口 裕朗	販売促進	災害時における安否情報共有システムの販売促進及び防災情報ステーションの構築	・安否情報共有システム(ilivabox)スマートフォンアプリ販売	・災害時の安否確認システムと見守りサービス機能(高齢者・子供)とを兼ね備えたスマートフォンのアプリを開発。海外のサーバーを利用することにより国内での災害時にも対応する。
54	垣内産業(株)	越前市今宿町 35-3-2	代表取締役 垣内 勝美	販売促進	災害避難所に対応した組立式段ボールパーテーション(ブース)と簡易ベッドの販売	・組立式の段ボール製パーテーションと簡易ベッドの開発	・紙(段ボール)でのパーテーション、簡易ベッドという発想 ・軽くて、丈夫で、置き場所をとらない
55	装飾 日和	越前市岩内町 31-1 高木商事 2F	錦織 ほまれ	販売促進	越前和紙を活用した様々な生活商品の開発とその販路開拓	・越前和紙を使った高級生活用品の開発・販売	・人間国宝「九代岩野市兵衛」の和紙を使った生活用品を「THE市兵衛」シリーズとして商品化する。想定する販売対象は都会の高級志向の消費者
56	岩井刃物工場	越前市向陽町 164	岩井 孝之	研究開発	高硬度不透鋼を使用した新製品開発	・新素材、新製法による包丁の製作	・切れ味が落ちない包丁の製作(加工困難な新素材の加工) ・素材のレーザー切断による半加工の素材の使用によるコストカットした包丁の製作
57	(有)タツタ	越前市千原町 4-7-1	龍田 利浩	研究開発	チタン、チタン合金を使用した、楽器、楽器部品、楽器用品の商品開発	・チタン素材を使用したギター用品とリード楽器(ハーモニカ笙)の作成	・チタンの質感を感じることができる高級ギター用品の製作 ・チタン素材を用いて新しい音色を出せるリードの製作
58	(株)明光建商	越前市葛岡町 8-10-1	塩谷 和宏	研究開発	立体造形商品のための吹付和紙の開発	・風合いの異なる吹付和紙溶液と吹付機材の開発	・様々な吹付和紙の原料の開発 ・和紙の吹付技術の改良
59	(株)ユメロン黒川	越前市元町 5-7	黒川 裕文	研究開発	新蓄熱遠赤外線放射素材(4種類の開発)	・各種商品への使用に向けて、安価で加工がしやすい蓄熱材の開発	・新素材を利用した安価で様々な分野で利用できる製品原料の開発
60	山耕(株)	越前市小松 2 丁目 23-20	山田 芳郎	販売促進	恐竜王国ふくいからイクラボオリジナルランドセルダイナソーランドセル登場	・恐竜ランドセルを独自企画し展開	・かぶせ(ランドセルの覆いに当たる部分)などに大きなイラストの配置など

No	事業者名	住所	代表者氏名	事業の種別	テーマ	事業内容（特記）	新規性・独自性（特記）
61	山耕(株)	越前市小松2丁目23-20	山田 芳郎	知的財産権取得	イクラボオリジナルランドセル ダイナソーランドセル	・「Dinosaur」を商標としてかばん類、袋物に登録出願	—
62	小柳タンス店	越前市武生柳町10-7	小柳 範和	知的財産権取得	スマートフォン向け無電源拡声スピーカー	・左記スピーカーへの意匠登録	—
63	(株)西野商会	越前市定友町4-7-6	山田 芳清	販売促進	ホームページと連動した提案型の和紙見本帳の作成による販路開拓事業	・和紙の知識の少ない業者には和紙の魅力を伝える。	・和紙の使い方の提案を見本帳とホームページをリンク
64	本塚リボン工業(株)	越前市芝原2丁目7-27	本塚 和夫	販売促進	汚濁水を浄化して排水又は生活に使用するための処理剤の販路開拓	・複雑な装置を必要としない汚泥水処理剤の販路開拓	・簡便に大容量の処理を複雑な機械を必要とせず行える
65	(株)ラ・ポルタ	越前市新在家町13-1	高野 治士	知的財産権取得	既存の収納スペースに取り付けられる吊り車レール	・左記レールへの特許	—
66	(株)和紙空間	越前市堀川町6-10	吉田 勤	研究開発	意匠性のある軽量内装材パネル(不燃)の開発及び販路拡大	・ガラス織物を用いた新しい内装材の開発	・ガラス織物を用いた耐水性・透光性・硬質性・不燃性を持ち合わせた軽量な内装材の開発 ・ビスを用いずに内装材を繋げ合わせ天井や壁として使用可能にする塩化ビニール製ジョイナーの開発
67	マルイチセーリング(株)	越前市赤坂町33-8-1	小林 一朗	研究開発	「くつろぎながら、自分の世界を楽しむ」次世代パーソナルソファの開発	・IT機器との親和性を深めたパーソナルソファの開発	・スマートフォン・タブレット等IT機器とソファをリンクさせ、リクライニングの操作等を可能にする
68	山伝製紙(株)	越前市岩本町1-18	山口 和弘	研究開発	各種和紙原料の極微細開繊化繊維(CNF)を利用した製紙薬剤製造の事業化調査	・和紙原料をCNFして作る製紙用薬剤の開発	・和紙原料 CNF 製紙用薬剤を用い、和紙の表面強度・引張強度等の性能を向上させることで、和紙の使用用途拡大を図る
69	ファニチャーホリック	越前市大虫町6-2	山口 祐弘	研究開発	海外販路を見すえた革新的越前箆笥等の開発	・小箱を組み合わせて作る新しいスタイルの越前箆笥の開発	・顧客の要望に沿って様々な形の内箱を組み合わせた新しい越前箆笥の開発 ・外箱・内箱を分けた生産方法の開発
70	(株)ラ・ポルタ	越前市新在家町13-1	高野 治士	知的財産権取得	マグネットを磁着させることが出来る建築壁材	・左記壁材への特許	—

(2) 越前市PR応援商品

全国に向けて販売される商品に、市が制作したロゴマークを使用することにより商品を登録し販売することで、越前市のPRや販売促進を図る。

越前市PR応援商品登録 10件登録
越前市PR応援商品パッケージ作成 1件

39 日野川地区工業用水水道建設事業

福井県、越前市及び鯖江市が、日野川地区において地下水障害の未然防止と、産業基盤の整備による工業の発展を図るための工業用水道建設事業に対する起債償還、榭谷ダムに対する維持管理費及び小水力発電事業の負担金などで構成される負担金。

平成27年度 123,692,761円
平成28年度 119,589,383円
平成29年度 121,518,731円

40 工業団地管理事業

市内工業団地の維持管理を行う。

平成27年度 1,297,922円
平成28年度 2,520,283円
平成29年度 1,282,701円

39 観 光

(1) 越前市観光・匠の技案内所（越前市府中一丁目2番3号 センチュリープラザ1階）

設置目的 観光と伝統産業との結びつきの強化を目指し、観光案内と伝統産業の紹介、伝統産業の商品販売を行う。

開 所 平成19年12月2日
管理運営 一般社団法人越前市観光協会へ委託(平成25年4月より)
開館時間 午前9:00～午後6:00
休 館 日 年末年始(12月29日～1月3日)

(2) 主要な観光素材

名 称	所在地	管理者	平成29年 入込数(人)	備 考
たけふ菊人形	高瀬 二丁目	主催 たけふ菊人形まつり実行 委員会	163,441	開催期間 9月28日～11月4日 (※平成30年)
越前市サマー フェスティバル	武生中央公園 市街地 日野川河川敷	主催 越前市サマー フェスティバル 実行委員会	122,300	開催期間 8月13日～15日 (※平成30年)
あじまの万葉まつり	余川町	主催 あじまの万葉まつり	6,024	開催期間 5月3日～4日

名 称	所在地	管理者	平成29年 入込数(人)	備 考
		実行委員会		
式部とふじまつり	東千福町	主催 (一社)越前市観光協会	31,500	開催期間 5月3日
神と紙のまつり	五箇一円	主催 神と紙のまつり実行委員会	15,000	開催期間 5月3日～5日
万葉の里 味真野苑・万葉館	余川町	越 前 市	55,774	水芭蕉や藤、ぼたんなど四季折々の花々を見ることができる
万葉菊花園	余川町	越 前 市	27,755	休館日は月曜日、祝日の翌日、年末年始。
タケフナイフ ビレッジ	余川町	タケフナイフ ビレッジ(協)	19,490	年中無休(1月1日～3日を除く)
紫式部公園	東千福町	越 前 市	63,000	紫式部が一年余りを越前市で過ごしたことを記念して作られた平安朝庭園
藤 波 亭	東千福町	越 前 市	11,305	近隣及び市内の特産物展示販売。毎週火曜日、年末年始は休み
蔵 の 辻	蓬萊町	越 前 市	26,660	白壁の蔵が建ち並ぶおしゃれな一角
ちひろの生まれた家記念館	天王町	(一社)越前市観光協会	4,841	毎週火曜日、年末年始休館
愛 山 荘	若竹町	小野谷機工(株)	5,717	国の有形文化財。不定休 入館料1,000円
花 筐 公 園	栗田部町	越 前 市	6,800	はながたみまつり 4月上旬 花筐もみじまつり 11月上旬
越前和紙の里 紙の文化博物館	新在家町	越 前 市	108,705	平成29年リニューアル。卯立の工芸館との共通入館料200円 火曜日、年末年始休館
越前和紙の里 卯立の工芸館	新在家町	越 前 市		紙の文化博物館との共通入館料200円 火曜日、年末年始休館
越前和紙の里 パピルス館	新在家町	越 前 市		入館無料 年末年始休館 体験コーナー(有料)
おかもと 岡太神社 大瀧神社	大瀧町	岡太神社 大瀧神社	44,605	国指定重要文化財 大瀧神社本殿及び拜殿

名 称	所在地	管理者	平成29年 入込数(人)	備 考
みどりと自然 の村・太陽の広 場	安養寺町	越 前 市	24,954	キャンプ場やBBQ場あり 月曜日、祝日、年末年始休み
金華山グリー ンランド	米 口 町	越 前 市	5,068	水曜日休み
武生カントリー クラブ	勝蓮花町	武生カントリークラ ブ	28,014	自然を巧みに生かしたコース レストラン・大浴場あり
八ッ杉森林学 習センター	別 印 町	越前市文化振興・施設 管 理 事 業 団	11,219	宿泊施設、バーベキューなど
武生公会堂記 念 館	蓬 萊 町	越 前 市	15,690	月曜日、祝日の翌日、年末年始 休館
御 誕 生 寺	庄 田 町	御 誕 生 寺	30,000	猫寺として有名で、50匹以上の 猫を保護・飼育している。
かこさとしふ るさと記念館 砦	高 一 丁 瀬 目	越 前 市	47,366	火曜日、祝日の翌日、年末年始 休館
武生中央公園	高 二 丁 瀬 目	越 前 市	241,509	だるまちゃん広場やパピブペ ポー広場など、おすすめスポッ ト満載

(3) 観光施設整備事業 整備内容と事業費

年 度	整 備 内 容	事業費(千円)
平成27年度	遊 具 整 備 事 業	5,092
平成28年度	菊 花 五 重 塔 移 設 工 事	1,471
	菊 花 陳 列 所 通 路 新 設 工 事	5,651
	紫 式 部 像 修 復 工 事	8,035
平成29年度	遊 具 整 備 事 業	5,383
	味 真 野 苑 整 備 事 業	70,460

(4) たけふ菊人形 ア 年度別入場者数

年 度	たけふ菊人形総入場者(人)
平成27年度	89,930
平成28年度	90,901
平成29年度	163,441

イ たけふ菊人形イベント

	菊人形テーマ	大 劇 場	野外ステージ	そ の 他
平成 27 年 (64 回)	平安菊花絵巻 紫式部	OSK日本歌劇団 グランドレビュー 「紅に燃ゆる～真田幸村物語～」 サヨナラ中ホール企画 「トップスター高世麻央感謝ステージ」	キャラクターショー 空中太鼓 ゆるキャラ大集合 市民芸能ステージ 福島県会津白虎隊踊り 女子博	菊人形館・ハンギングバスケット・大道芸・野点・体験イベント・ナイト菊人形・若狭路さとうみフェスタ in 菊人形・菊を食べよう・仁愛大学 day・ハロウィンデー
平成 28 年 (65 回)	菊花繚乱 ～偉人たちの歴史 絵巻～	OSK日本歌劇団 グランドレビュー 「レジェンド 愛の神話」	キャラクターショー タレントショー 空中太鼓 ゆるキャラ大集合 市民芸能ステージ 福島県会津白虎隊踊り	菊人形館・ハンギングバスケット・大道芸・野点・体験イベント・ブラジルフェスティバル・あんこグランプリ・紙芝居まつり・菊を食べよう・仁愛大学 day・ハロウィンデー
平成 29 年 (66 回)	菊花絵巻 井伊直虎	OSK日本歌劇団 グランドレビュー 「第 38 回たけふレビュー OSKシンフォニー」	空中太鼓 ゆるキャラ大集合 市民芸能ステージ 市内中学校吹奏楽 武生商業高校吹奏楽	菊人形館・ハンギングバスケット・大道芸・野点・体験イベント・クラフトマルシェ・ブラジルフェスティバル・紙芝居まつり・ハロウィンデー・若狭デー・食のイベント(パンフェス・世界のビールとからあげ天国・スパイスフェスティバル・BOY MEAT GIRL)

40 万葉菊花園

菊を中心とした花とふれあうことのできる施設として、たけふ菊人形で培った菊の伝統的な栽培技術を公開し、花にちなんだいろいろな体験学習ができる。

万葉の里を代表とした味真野地区の豊かな自然環境や文化遺産を背景に、魅力ある地区づくりと広域観光の推進を担っている。

(1) 施設の概要

事業主体	越前市
場 所	越前市余川町第 22 号 96 番地 1 (万葉の里味真野苑前)
敷地面積	24,000 m ²
事業費	803,266 千円
開 館	平成 10 年 4 月 30 日

(2) 施設内容

施 設 名	施 設 内 容
栽培交流施設 体験棟	菊を中心とする花きの栽培普及に関する拠点施設で、展示会、講座などの開催
栽培交流施設 展示棟	年間を通した花きの展示 市民ギャラリーとしての作品展示
ふれあい施設	年間を通して菊の栽培を行い、その栽培過程を紹介・展示 伝統的な 7 本仕立て・懸崖菊・千輪菊の栽培を行うとともに、その栽培状況を公開し、体験学習に使用 菊人形会場における、五重塔、菊の造形物(菊のトピアリー)等の制作

41 ふるさと納税制度の推進

平成 20 年 5 月から、地方公共団体への寄付金制度であるふるさと納税制度がスタートし

た。本市では、総合計画に掲げるまちづくりの 5 本の柱に基づいた各事業の推進に有効に活用するため、ふるさと納税制度についての周知を図るとともに、寄附金の募集や活用に向けた取組みを推進している。平成 27 年 12 月から利用者の利便性向上と寄付者増大を目的に、クレジットカード納付受付開始、業務の外部委託、返礼品の拡充を段階的に実施しているだけでなく、クラウドファンディング形式の寄附募集も実施している。

平成 27 年度～29 年度までの実績

年度	件数	金額	備考
平成 27 年度	194 件	12,082 千円	クレジットカード納付受付開始。
平成 28 年度	693 件	44,335 千円	株式会社 JTB 西日本と業務委託契約締結し、返礼品を大幅に拡充。
平成 29 年度	1,828 件	104,454 千円	返礼品を約 300 品まで拡充、クラウドファンディング形式の寄附募集を実施（年 3 回）